

平成30年度
敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書

敦 賀 市 教 育 委 員 会

— 目 次 —

はじめに	1
敦賀市教育大綱（概要版）	2
総合計画数値目標との比較	3
＜各課（まとめ）＞	
教育総務課	4
学校教育課	1 2
○給食センター	2 7
生涯学習課	3 0
○図書館	3 9
○プラザ萬象	4 3
○少年愛護センター	4 5
○少年自然の家	4 8
文化振興課	5 0
○市民文化センター	5 5
○博物館	5 7
○みなとつるが山車会館	5 9
スポーツ振興課	6 1
○総合運動公園	6 9
外部の知見	
○福井県立大学学術教養センター 黒田祐二	7 2
○福井県立大学経済学部 桑原美香	7 6
(巻末)	
敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価（マニュアル）	7 9

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、自己点検・評価を実施するよう規定され、本市教育委員会においても、事務局の各部署の事務について実施しております。

このたび平成30年度分の自己点検・評価の報告書を作成いたしました。評価方法は、各部署において執行している事務について、予算の項目ごとに評価しました。従って、報告の形式は、各部署の管理し執行する事務、中でも注視すべき事務を評価項目に加え「事業名」とし、管理執行した事務は「取組み状況と成果」に記載し、これに基づき「成果の分析と評価」をいたしました。

「評価」は「有効性」、「効果性」、「効率性」をそれぞれ、アルファベットのA「前進」、B「維持」、C「後退」の三段階で表わしました。

「今後の方向」は①継続、②完了、③拡大、④縮小、⑤転換、⑥中止の6項目で表しました。

「分類」は教育委員会が執行する事務がどのように法令等に基づいているかを分類したものです。

自己点検・評価に際しては、外部の知見を活用するため、事業ごとに評価調書を作成のうえ、学校評価に見識をお持ちの福井県立大学学術教養センター 黒田祐二先生、地方財政に見識をお持ちの福井県立大学経済学部 桑原美香先生のお二人にご意見をいただきました。

また、第6次総合計画後期基本計画の数値目標については、その達成状況と分析に努め、人事・組織の見直し、予算の計上・削減、事務の改善・廃止等に活かしていきたいと考えております。



敦賀市教育大綱（概要版）

－教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策－

教育目標 ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

基本理念

「白砂青松」の地である敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となって、先人が築き上げた伝統を受け継ぎ、「人道の港」敦賀ならではの魅力ある教育を推進する。



ふるさと敦賀の花「はぎ」

基本方針

(1) 学校教育の充実

- 施策 ① 学びの芽生えを育む幼児教育の推進
- 施策 ② 自ら考え、行動する力を身に付ける教育の推進
- 施策 ③ 社会のグローバル化に対応できる外国語教育の推進
- 施策 ④ 個々のニーズに合わせた特別支援教育の推進
- 施策 ⑤ 健やかな体の育成を目指した健康・安全教育の推進
- 施策 ⑥ いじめや不登校を予防し、防止する生徒指導体制の推進
- 施策 ⑦ 児童・生徒数や社会の変化に対応した学校の整備
- 施策 ⑧ 社会の変化に応じた教育活動を行うための教職員の資質及び指導力の向上



ふるさと敦賀の木「まつ」



ふるさと敦賀の鳥「ユリカモメ」

(2) 社会教育の充実と活性化

- 施策 ⑨ 活力ある地域社会の形成
- 施策 ⑩ 社会的な課題に対応する生涯学習の推進
- 施策 ⑪ 社会教育施設の整備・充実
- 施策 ⑫ 地域等と連携した青少年の健全育成

(3) 文化の振興・支援

- 施策 ⑬ 文化意識の向上
- 施策 ⑭ 市民文化の活動拠点の整備・充実
- 施策 ⑮ 文化財の保護・支援
- 施策 ⑯ 文化財の活用の推進

(4) スポーツの振興及び推進

- 施策 ⑰ 国体開催を契機としたスポーツの振興
- 施策 ⑱ 生きがいと健康づくりとしてのスポーツの振興
- 施策 ⑲ 人のつながりを再生するスポーツ交流の推進
- 施策 ⑳ スポーツ施設の整備



敦賀市公認キャラクター「よっしー」

第6次総合計画 後期基本計画の数値目標との比較

第5章 心豊かな人を育むまちづくり

基 本 計 画		実 施 計 画			
名 称	基 本 的 な 方 向 性	名 称	成 果 指 標		
			内 容	30年度末数値	目標年度(32)
第1節 人材育成の充実	(1)幼稚園教育の充実	公立幼稚園改善計画	幼稚園児数	73人	120人
	(2)義務教育の充実	小中学校施設充実化計画	快適かつ安心安全な学習環境の実現	-	実現
		教賀市「知・徳・体」充実計画	角鹿中学校を中心とする小中一貫校の設立	-	事業着手
		次世代学校給食あり方検討計画	学校給食センターの在り方に関する方針	-	事業着手
(4)青少年の健全育成	青少年健全育成計画	愛の一声運動の人数	969人	1,400人	
第2節 社会教育の活性化	(1)多機能性を活かした地域づくり拠点の形成	生涯学習推進計画	公民館活動への参加者数	65,191人	70,000人
		生涯学習施設維持管理計画	生涯学習施設の利用者数	134,652人	130,000人
	(2)集客性を活かしたまちづくりの拠点の形成	図書館利用促進計画	図書館利用者数	202,648人	230,000人
	(3)文化・芸術の振興と文化財等の保護及び活用	文化活動推進計画	文化行事参加者数	19,552人	33,800人
		文化財整備活用計画	指定・登録文化財数	211件	209件
		博物館郷土文化力向上計画	見学者アンケートの満足度(%)	91	90
		文化活動拠点維持管理計画	山車会館利用者数	7,772人	19,300人
第3節 スポーツの振興	(1)福井しあわせ元気国体における教賀市開催方針の実現	福井しあわせ元気国体推進計画	国体の開催		実現
	(2)福井しあわせ元気国体後のフォローアップの展開	競技レベル向上推進計画	各事業の参加者数	1,814	4,200人
		コミュニティスポーツ推進計画	各事業の参加者数	2,761	5,500人
	(3)健康づくりとしてのスポーツの振興	生涯スポーツ推進計画	各事業の参加者数	3,197	7,750人
	(4)スポーツ施設の整備	スポーツ施設維持管理計画	地区体育館等のスポーツ施設の総利用者数	348,258	440,000人

教育総務課 自己点検・評価報告書（まとめ）

教育総務課では、学校施設の整備に関することを担っています。本市では、全市的に小中一貫教育を推進しており、福井県内の公立学校で初めてとなる小中一貫校の角鹿小中学校の開校を令和3年4月に控えて設置に向け取り組んでいます。

また、教育委員会事務局の各課の連絡調整に関することも担っており、教育委員会の会議及び総合教育会議の運営に関すること、本市の教育行政の大きな方針を示した「教育大綱」に基づき、より具体的な施策を定めた「教育振興基本計画」に関する事務に取り組んでいます。

教育委員会の運営について

教育委員会は毎月開催し、議案の審議や各事業の方針を決定しています。

教育委員会や行事等への参加を推進することができ、報告事項158件・審議事項22件を滞りなく決議できました。「敦賀市教育振興基本計画」の進捗管理や各教育分野の諸課題について、議題が発生した時点で議題とし、委員の意見を反映し、より良い教育行政の推進に努めることができました。

教育委員会事務局職員の人事について

教育委員会事務局には、学校勤務の調理員・用務員等また臨時・パートを含めて292名の職員が勤務しています。欠員が生じた場合には迅速かつ適切に対応して、業務に支障がないよう、総務部総務課と連携して対応に努めました。また、特別休暇等の各種届出書を遅滞なく提出してもらうことにより、円滑な事務運営を図りました。

角鹿中学校区小中一貫校設置準備委員会及び小中一貫校整備事業について

角鹿中学校及び敦賀北・赤崎・咸新小学校を統合した小中一貫校の設置に向けて、統合の実現に必要な課題の解決や準備事項についての検討を行う委員会を開催しました。

平成30年度は、設置準備委員会を1回、専門部会である総務部会を3回、学校運営部会を3回、PTA部会を3回、施設整備部会を9回開催しました。

総務部会では、校歌を現在の角鹿中学校の校歌を小中統一で継承すること、校章を小中統一したものを新たに制作すること、校訓を開校後に学校で制作することを決定しました。学校運営部会では、新しい学校の制服、体操服、ランドセルなどの方向性を検討しました。PTA部会では、4つのPTA組織統合に向けて、課題を整理・検討しました。施設整備部会では、前年度作成した基本計画・基本設計をもとに4校の全教職員を対象にワークショップ形式で議論を行い、使い勝手の良い施設を目指し、現場の目線から計画のブラッシュアップを図り、実施設計に反映しました。

令和元年度は前年度の検討を受けて、校章、制服、PTA組織、通学方法等の検討を進めます。

また、施設整備については、令和元年度より、施設整備部会での議論を反映した実施設をもとに、校舎新築工事、メインアリーナ大規模改造工事、外構施設撤去工事に着手します。

学校施設の整備、管理運営及び備品等の購入について

学校施設の整備につきましては計10件の工事を行いましたが、市内の小中学校の校舎、体育館はいずれも年数が経過しており老朽化が目立ってきています。しかし、全ての工事を一度に実施することは不可能なことから、調査等を毎年行い、工事対象となる学校の優先順位を検討するとともに、国の交付金、起債等財源の確保に務めながら、計画的に整備を進めていきます。

備品等の購入につきましては、毎年度学校訪問を行い現場の要望を把握し、限られた予算を有効に活用するため、学校全体の優先順位をつけて行っています。そのため、施設と同じで老朽化が目立つ備品もあり、計画的な買い替えに務めています。

教育総務課

【教育総務課の事務分掌】

- (1) 教育委員会の会議に関すること
- (2) 公印の保管に関すること
- (3) 事務局、学校その他教育機関の職員(県費負担教職員を除く。)の人事に関する
こと
- (4) 職員の身分・サービス及び給与の負担行為に関すること
- (5) 学校の設置・管理及び改廃に関すること
- (6) 学校教育の用に供する財産の管理に関すること
- (7) 学校の施設及び設備(備品を含む。)の整備に関すること
- (8) 教育委員会の所轄に属する財産(教育財産を除く。)の管理に関すること
- (9) 教育目的のための基本財産及び積立金の管理に関すること
- (10) 教育委員会規則の制定又は改廃に関すること
- (11) 教育財政に係る調査及び統計に関すること
- (12) 事務局内の取締り及び庁内管理に関すること
- (13) 文書の收受、浄書・発送及び保管に関すること
- (14) 市長・市議会及び市の各課(室)との連絡に関すること
- (15) 県教育委員会その他の教育委員会及び事務局各課(室)との連絡調整に関する
こと
- (16) 職員の研修及び福利・厚生に関すること
- (17) 教育行政に関する相談に関すること
- (18) 前各号のほか他課に属しない事項

【教育委員の氏名】

教育長	上野 弘
教育長職務代理者	神谷 敬一郎
委員	岸本 松則
委員	中宮 智子
委員	堺 啓輔

【自己点検・評価】

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
教育委員会の開催	<p>平成30年4月から平成31年2月までに11回の教育委員会を開催し、次の事項について審議しました。</p> <p>○平成30年第4回教育委員会(4月11日)</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業17件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市立図書館会館時間の変更の件 ・敦賀市教育認定子どものための教育・保育に係る利用者負担額等に関する規則の一部 	<p>議案はすべて順調に審議され、委員会の運営の効率化を図ることができました。</p>	<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">有効性</td> <td style="padding: 2px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効果性</td> <td style="padding: 2px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 (コスト)</td> <td style="padding: 2px;">B</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 (人員)</td> <td style="padding: 2px;">B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-1
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

	<p>を改正する規則制定の件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業お盆期間の学校閉鎖に係る小学校及び中学校の管理規則の一部を改正する規則制定の件 ・敦賀市立学校職員宿日直代行員設置規則の廃止の件 ・敦賀市立中学校運動部活動の方針制定の件 <ul style="list-style-type: none"> ○第5回教育委員会（5月9日） 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第4回教育委員会議事録の件 ・寄附採納の件2件 ・共催、後援事業22件 審議事項 ・平成30年度学校評議員委員委嘱の件 ・平成30年度敦賀市教育委員会支援委員会委員委嘱の件 <ul style="list-style-type: none"> ○第6回教育委員会（5月30日） 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第5回教育委員会議事録の件 ・後援、共催事業16件 ・平成30年6月補正予算の件 審議事項 ・敦賀市立少年自然の家運営協議会委員委嘱の件 ・敦賀市文化芸術事業企画審査委員会委員委嘱の件 ・平成30・31年度敦賀市社会教育委員の会委員委嘱の件 ・平成30・31敦賀市公民館運営審議会委員委嘱の件 ・敦賀市立図書館協議会委員委嘱の件 ・平成30・31年度敦賀市少年愛護センター運営委員会委員委嘱の件 <ul style="list-style-type: none"> ○第7回教育委員会（7月4日） 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第6回教育委員会議事録の件 ・寄附採納の件1件 ・共催、後援事業22件 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> なし ・第8回教育委員会（7月27日） <ul style="list-style-type: none"> 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第7回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業6件 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> なし ・第9回教育委員会（8月10日） <ul style="list-style-type: none"> 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第8回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業5件 審議事項 ・平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）及び平成31年度使用小学校教科図書の採択決議の件 <ul style="list-style-type: none"> ○第10回敦賀市教育委員会（9月26日） 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第9回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業10件 審議事項 ・史跡金ヶ崎城跡保存整備委員会委員委嘱の件 ・敦賀市文化芸術事業企画審査委員会委員委 			
--	---	--	--	--

	<p>囑の件</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度教育委員会表彰規定に基づく被表彰候補者の件 ○第11回敦賀市教育委員会(11月6日)報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 第10回教育委員会議事録の件 共催、後援事業18件 審議事項なし ○第12回敦賀市教育委員会(11月20日)報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 第11回教育委員会議事録の件 共催、後援事業1件 平成30年度12月補正予算の件 審議事項なし ○平成31年第1回敦賀市教育委員会(1月9日)報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 第12回教育委員会議事録の件 共催、後援事業13件 審議事項なし 平成30年度学校評議員委員委嘱の件 ○第2回敦賀市教育委員会(2月18日)報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 第1回教育委員会議事録の件 共催、後援事業11件 平成30年度3月補正予算・平成31年度当初予算の件 審議事項なし 平成31年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択嶺南地区協議会の設置の件 敦賀市民文化センター設置および管理に関する条例の施行期日を定める規則制定の件 敦賀市いじめ防止基本方針改定の件 敦賀市中学校部活動の方針改定の件 												
<p>専門委員等の委嘱及び任命等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀市教育支援委員会委員32名委嘱、3名任命 任期：平成30年4月1日～平成31年3月31日 学校評議員135名委嘱 任期：平成30年4月1日～平成31年3月31日 敦賀市立少年自然の家運営協議会委員2名委嘱 任期：平成30年7月1日～平成31年6月30日 敦賀市文化芸術事業企画審査委員会委員5名委嘱 任期：平成30年5月28日～平成31年3月31日 敦賀市社会教育委員の会委員13名委嘱 任期：平成30年6月1日～平成32年5月31日 敦賀市公民館運営審議会委員45名委嘱 任期：平成30年6月1日～平成32年5月31日 敦賀市立図書館協議会委員2名委嘱 任期：平成30年4月1日～平成31年8月31日 敦賀市立図書館協議会委員2名委嘱 	<p>平成30年度若しくは平成30～32年度の2ケ年にわたる委員の適格・適任について審議し、委嘱及び任命しました。</p> <p>その際に、各種関係機関、団体との連携や専門的な知識が必要とされることを重視しました。</p>	<table border="1" data-bbox="1117 1601 1268 1803"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>I-1</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

	<p>任期：平成30年7月1日～平成31年8月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市少年愛護センター運営委員会委員9名委嘱 <p>任期：平成30年6月1日～平成32年5月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡金ヶ崎城跡保存整備委員会10名委嘱 <p>任期：平成30年10月1日～平成32年9月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市文化芸術事業企画審査委員会委員1名委嘱 <p>任期：平成30年9月27日～平成31年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員1名変更委嘱 <p>任期：平成31年1月21日～平成31年3月31日</p>												
<p>条例・規則等の制定及び改正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市教育認定子どものための教育・保育に係る利用者負担額等に関する規則の一部を改正する規則制定の件 ・夏季休業お盆期間の学校閉鎖に係る小学校及び中学校の管理規則の一部を改正する規則制定の件 ・敦賀市立学校職員宿日直代行員設置規則の廃止の件 ・敦賀市民文化センター設置および管理に関する条例の施行期日を定める規則制定の件 	<p>委員の任命基準の設定や法律変更等に伴う関係条例等の制定及び改正を行いました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-8
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>校舎等改良及び補修工事</p>	<p>各学校に必要な補修工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東浦小プールろ過器電動5方弁等改修工事 ・粟野小学校普通教室床塗装改修工事 ・沓見小学校渡り廊下屋上防水等改修工事 ・中央小学校体育館外壁及び床塗装改修工事 ・各小中学校消防設備改修工事 ・小中学校職員室等空調機器改修工事 ・粟野中学校フェンス整備工事 	<p>いずれも、老朽化対応や教育環境向上に伴う改修であり、緊急を要するため早急に対処しました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	A	①継続	II-5 II-6
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	A												
<p>非構造部材耐震補強事業</p>	<p>中央小学校及び粟野中学校体育館の外壁のクラック改修及び吹付改修を実施しました。竣工から35年以上経過している8体育館のうち、2体育館の工事を実施することができました。</p>	<p>緊急防災・減災事業債を活用し計画的に工事を進め、学校環境の改善が図られました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	A	①継続	II-5 II-6
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	A												
<p>小学校給排水設備改修事業費</p>	<p>粟野南小学校の児童・職員トイレの洋式化を実施しました。同校のトイレの洋式化率を15%から100%にすることができました。</p>	<p>国の学校施設環境改善交付金を活用し、計画的に工事を進め、学校環境の改善が図られました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	A	①継続	II-5 II-6
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	A												
<p>教育振興備品の購入</p>	<p>6月頃予算を各学校に配分し、各学校の要求に優先順位を付け、必要な教材備品を購入しました。購入時期は、利用の期日に合わせ適切に設定しました。</p> <p>また、必要な小学校の鼓隊、中学校のプラスバンドの備品、理科振興備品及び特別支援学級の備品等を適正に整備しました。</p>	<p>各学校と綿密に協議し、要求に添うよう対応することで、良好な教育環境の整備を図ることができました。教育活動に必要な備品が整備でき、学習効果を高めることができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-5
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

角鹿中学校区小中一貫校設置準備委員会関係経費	老朽化する学校施設への対応や児童生徒のより良い学習環境の向上等を目指し、角鹿中学校、敦賀北、赤崎及び咸新小学校を統合した小中一貫校の設置に向けて、統合の実現に必要なとなる課題の解決や準備事項について検討・調整を行う「角鹿中学校区小中一貫校設置準備委員会」を開催しました。	長年の懸案事項であった同校の設置について、具体的かつ前向きな検討を行い、設置に向けた諸課題について検討・調整することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	①継続	I-2
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	A												
教育功労者の表彰	敦賀市の教育行政に功労のあった個人及び団体に対し、功労賞及び奨励賞を授与しました。 表彰式：平成30年11月12日実施 受賞者： 教育功労賞 玄蕃尾城跡保存会 (元敦賀市教育委員・教育長) 教育奨励賞 橋本 幸美 (粟野南小学校養護教諭) 計 団体2団体 個人1名	教育功労者の選定、表彰式とも計画的に実施できました。被表彰者については、潜在者の掘り起しが必要です。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-16
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
教育委員会事務事業評価	平成29年度教育委員会事務の自己点検・評価を実施し、9月議会へ報告書を提出しました。	所管事務の評価により改善点の発見につながりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-17
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
学校管理運営	学校施設の保守管理として廃棄物処理や設備等の法定点検にかかる委託等を実施しました。 また、各学校の電気、水道料金等の光熱水費を支払いました。 管理運営に必要な消耗品の購入や小修繕に必要な経費は、予算を年度当初に各学校に配分し、その範囲で必要な消耗品等の購入や修繕を実施しました。 また、各学校の要求に優先順位を付け、必要な管理用備品を購入しました。購入時期は、利用の期日に合わせ適切に設定しました。	学校施設の良い管理運営を図るため、法定点検等の委託を、安全・安心の観点から適切に計画どおり実施できました。 また、各学校へ予算を配分することで、有効で計画的な運用を図ることができました。 各学校と綿密に協議し、要求に添うよう対応することで、良好な管理運営を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-1 II-5
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
学校給食の運営	自校給食校の給食室備品（ガス回転釜、配膳台等）の老朽化に伴う計画的な整備や、調理員への貸与被服の購入等の業務を実施しました。	給食備品を計画的に整備し、給食運営に支障がないように対応ができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-5 II-6 II-7 II-8
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
学校保健用備品の購入	各学校の要求に優先順位を付け、必要な保健室備品（担架、体重計等）を購入しました。	保健室備品の計画的な整備を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-10 II-5 II-6 II-7
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

<p>小中一貫校整備事業費</p>	<p>老朽化する学校施設への対応や児童生徒のより良い学習環境の向上等を目指し、角鹿中学校、敦賀北、赤崎及び咸新小学校を統合した小中一貫校を設置するため、実施設計を作成しました。</p>	<p>同校設置準備委員会の施設整備部会において、対象4校の全教職員や児童生徒の意見を十分反映し、学習環境の充実化に向けて有意義な取組みを進めることができました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>A</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	<p>①継続</p>	<p>I-2</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	A												

学校教育課 自己点検・評価報告書（まとめ）

学校教育課では、市内公立幼稚園、小学校、中学校の運営管理をするとともに、「敦賀市教育振興基本計画」及び「敦賀市『知・徳・体』充実プラン」に基づいた家庭・学校・地域が一体となった教育を推進するための事業を展開し、社会に出てからも学校等で学んだことを生かせる人材の育成を図っています。

また、平成30年度から「働き方改善推進事業」を新設し、教員の長時間労働の緩和、負担の軽減に取り組みました。

地域教育コミュニティ推進事業、地域と進める体験推進事業について

平成29年4月に文部科学省の「地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン」において、各教育委員会がそれぞれの地域や学校の特色を生かしつつ、円滑かつ効果的に地域学校協働活動を積極的に推進していくことが明記されました。

敦賀市では、以前から「地域教育コミュニティ推進事業」に継続的に取り組み、「生きる力」の育成を基本とし、特色ある教育、特色ある学校づくりを推進するため、家庭・学校・地域の連携により、相互に情報を提供し、教育力の向上を図っています。

具体的には、オープンスクールに地域のいろいろな職業の方をゲストティーチャーとして招き、携わっている仕事についての内容、やりがい、苦労等を聞いたり、中学校2年生を対象に市内の事業所において実際に就業体験を行ったりして、児童生徒が地域の人々と交流しました。

また、平成28年度から福井県の補助事業である「地域と進める体験推進事業」を開始し、平成30年度は市内全17校で事業を実施しました。この事業は、「体験学習」を主とし、児童生徒が自ら地域の課題等に取り組んでいます。

例えば、栗野中学校は、県外で「ふるさとPR活動」を行いました。前年度3年生が開発した「箸と箸おき」に加え、「箸包」を作成しました。その際には地域コーディネーターに生徒自らプレゼンテーションを行い、助言をもらいながら完成させ、商品の企画開発から販売までを体験しました。

毎年継続して事業予算を各学校に規模に応じた金額を配分し、それぞれの地域の特性に応じた独自事業を展開することにより、児童生徒が身近な地域のことに興味や愛着を持ちながら学習し、昨今希薄となりつつある地域と家庭との連携強化及び地域の活性化に繋がっていくことを期待しています。

働き方改善推進事業について

教育現場を取り巻く環境の複雑化・多様化により、学校に求められる役割が拡大する中、教員の長時間勤務の改善が喫緊の課題となっています。

この課題に対応するため、平成30年度から「学校運営支援員」を全小中学校17校に配置し、「部活動指導員」を中学校3校に配置しました。

「学校運営支援員」は、実習・実験等の準備・後始末・補助、学習プリントやたよりの印刷、ホームページの更新等を行い、「部活動指導員」は、単独での部活動指導や引率を行いました。

また、働き方改善の一環として、県主導で整備した「遠隔授業・研修システム」を会議や研修等で活用することにより、教員の出張による負担軽減が図られました。

この事業により、教員の心身の健康が保たれ、教員が本来担うべき授業改善に取り組む時間や子どもと向き合う時間が十分に確保されることで、よりよい教育ができる環境が整うよう目指しています。

公立幼稚園、小学校、中学校、ハートフル・スクールの管理運営について

消耗品については、各学校が配分された予算の範囲内で購入を行っています。

平成30年度は、各学校等における適正な管理、購入時の数量の精査により、決算額が予算額よりも下回りました。

また、裏紙使用やファイル類の再使用等の環境に配慮した取組みが各学校においても定着してきており、今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。

学校教育課

1 事務分掌

- (1) 児童・生徒の就学事務に関する事。
- (2) 市立小・中学校の管理に関する事。
- (3) 敦賀市補助金交付事業に関する事。
- (4) 就学援助費・特別支援学級就学奨励費に関する事。
- (5) 学校給食に関する事。
- (6) スクールバスに関する事。
- (7) ハートフル・スクールに関する事。
- (8) 幼稚園に関する事。
- (9) 奨学育英資金に関する事。
- (10) 市立幼稚園、小・中学校における学校教育全般に関する事。
- (11) 市立幼稚園、小・中学校教職員に関する事。
- (12) 学校教育に関わる調査統計に関する事。
- (13) 学校教育に係る事業等に関する事。
- (14) 教職員の働き方改善推進に関する事。
- (15) その他学校教育に関する事。

[敦賀市ハートフル・スクール及び教育研究室]

- (1) 不登校の児童及び生徒の適応指導に関する事。
- (2) 不登校の児童及び生徒のカウンセリングに関する事。
- (3) 訪問指導に関する事。
- (4) 教育相談に関する事。
- (5) 教材開発及び教育機器の活用に関する事。
- (6) 各教科の学習指導に関する事。
- (7) その他教育研究に関する事。

2 自己点検・評価

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
通学区域 審議会運 営	平成30年度開催なし		<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td></td></tr> <tr><td>効果性</td><td></td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td></td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td></td></tr> </table>	有効性		効果性		効率性 (コスト)		効率性 (人員)		①継続	I-2 I-10 I-12 II-6
有効性													
効果性													
効率性 (コスト)													
効率性 (人員)													
「知・徳・ 体」充実事 業	<p>「敦賀市『知・徳・体』充実プラン」や「敦賀市教育振興基本計画」等に基づき、子どもたちの社会性を育み、学力とそれに必要な教職員の資質向上に取り組みました。</p> <p>1 研修会開催 3回 2 先生のためのワークブック作成 3 家庭学習ガイド作成（小学校低学年用、高学年用、中学生用） 4 保幼小連携事業バス借上</p>	<p>毎年児童生徒用に作成している「家庭学習ガイド」に加え、新たに教員用の「先生のためのワークブック」を作成したことにより、教員個々のキャリアに応じて一層の力量形成を図ることができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	B	①継続	II-3 II-6
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	B												
働き方改善 推進事業	<p>教員の多忙化の解消を図るため、実習・実験等の準備・後始末・補助、学習プリントやたよりの印刷、ホームページの更新等を行う学校運営支援員を配置しました。また、部活動面での教員の負担軽減を図るため、単独で部活動の指導や引率ができる部活動指導員を配置しました。</p> <p>1 学校運営支援員 17校40人 2 部活動指導員 3校3人</p>	<p>支援員の配置により教員の残業時間は、ある程度減少していますが、不登校、いじめ等の対応が難解多様化していることから、今後更に減少し続けていくかは難しいところです。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	B	①継続	II-3
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	B												

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
地域教育コミュニティ推進事業	<p>「生きる力」の育成を基本とし、特色ある教育、特色ある学校づくりを推進するため、学校が地域や家庭と連携し、互いの教育力や情報を提供しあい、一体となって教育力の向上を図りました。</p> <p>1 教育コミュニティ推進研究事業 [全小中学校 17 校]</p> <p>オープンスクールを開催し、地域の人材・ボランティアの方々と協力し、地域の特色を活かした活動等をしました。</p> <p>2 中学生の社会体験活動事業 [全中学校 2 年生対象]</p> <p>就業体験活動に係るバス代を補助しました。</p> <p>3 小中接続研究推進事業 [全中学校 5 校]</p> <p>小中学校の英語研究事業を実施しました。</p> <p>4 小中連携合同事業、小小連携合同事業 [角鹿中学校区]</p> <p>中学校区の児童生徒の合同授業を実施しました。</p> <p>5 学力向上推進事業</p> <p>各教科教員の研究事業を実施しました。</p>	<p>各学校の特色ある独自事業を継続的に実施し、地域の人材・ボランティアの方々と触れ合うことで、地域活動に児童生徒が参加するなど地域の活性化にも繋がっています。</p> <p>小中一貫校（角鹿小中学校）の開校に向けた合同授業の開催により、児童生徒の不安の解消及び小中一貫校での学校生活の心積もりを図ることができました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ－3
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
魅力ある学校づくり調査研究事業	<p>不登校対策の推進に向けた教育委員会の果たすべき役割について、栗野中学校区の小中学校をモデル校とし、調査研究を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小中合同授業の実施 2 教職員対象研修会の実施 3 調査研究会への参加 4 先進地への視察 5 魅力ある学校づくり調査研究事業リーフレット作成 	<p>文部科学省の調査研究会、御殿場市への先進地視察を通じ、不登校対策の新たな知識を得ることができました。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">有効性</td> <td style="width: 50%;">A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ－3
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
教育関連事業団体等への支援	<p>教育関連事業団体等に事業の教育振興や教育の充実を図る目的で補助金を交付しました。</p> <p>補助金交付団体 3団体</p>	<p>特別支援教育事業等の振興充実と親交を図るための事業費の一部について補助を行うことにより、団体事業の活性化に繋がりました。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">有効性</td> <td style="width: 50%;">B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	④縮小	Ⅰ－2 Ⅱ－6
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
教育振興補助金	<p>生徒の体育・文化行事や通学の為の交通費等に補助を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 二州地区中学校体育連盟負担金 2 中学校体育行事等派遣旅費補助金（交通費、宿泊費補助） 3 生徒通学費補助金 <p>教育委員会規定区域の児童生徒の通学定期乗車券等購入額</p> <p>対象校 小学校 2校 中学校 5校</p> <p>補助率 全額又は2/3</p>	<p>体育・文化行事への参加を奨励することにより、体育文化活動への参加向上を図ることができました。</p> <p>遠方から通学する児童生徒の経済的負担の軽減を図りました。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">有効性</td> <td style="width: 50%;">B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ－3 Ⅱ－6
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
道徳教育総合推進事業	<p>家庭と地域が連携しながら児童生徒の道徳性を高めるため、地域の方等を講師として招き「親子で学ぶ道徳講座」を開催しました。</p> <p>実施校 中央小学校 赤崎小学校 松陵中学校</p>	<p>実施校を3校に増やし保護者も参加した講座を開催しました。毎年度新たな学校で実施することにより道徳意識の高揚に繋げていきます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p> <p>II-3</p>
有効性	B											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
地域と進める体験推進事業	<p>ふるさと福井に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成するため、児童・生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施しました。</p> <p>1 実施校 全小中学校17校 2 対象学年 小学5・6年生 中学生</p>	<p>30年度から実施校を全学校とし、各学区の地域まつりへの参加、校外学習でのふるさとPR活動等を子どもたちが体験することにより、地域への愛着を持ち、地域の未来を考えるきっかけとなりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p> <p>II-3</p>
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
ふくいので場産学校給食推進事業	<p>地場産の特産食材を使用した学校給食を児童生徒に提供するとともに、それらを教材とした食に関する授業を実施することを通して、地域の農林水産業や食文化への理解を深めました。</p> <p>1 実施日・主な献立(食材) 名 7月9日、13日 ふくいサーモンの塩焼き(ふくいサーモン)、青打ち豆のとんとん味噌汁(ふくい県産野菜等) 11月13日、16日 ブリの竜田揚げ(福井県産ぶり)、とんとんみそ汁(福井県産野菜等) 12月7日、10日 敦賀ふぐの唐揚げ(敦賀ふぐ)、地場産たつぷり豚汁(福井県産野菜等) 2 対象校 単独調理式校 小学校8校、中学校2校</p>	<p>地元産の食材を使用した給食を使ったことにより、児童生徒が食に対する興味を持ち、更に生産者の苦労や思いを共有することができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p> <p>II-3 II-8</p>
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
奨学育英式金貸付金繰出金	奨学育英資金貸付基金利子の積立を行いました。	奨学育英資金貸付基金の充実を図りました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
教育相談支援事業	いじめの早期発見、早期対応、未然防止等の対応を図るために、相談員を配置し、電話相談及び関係機関と連携した支援活動を行いました。 スクールカウンセラー1人(月3回)、教育相談支援員2人配置 相談件数 電話・メール相談 300件 (うちいじめ3件) 面接相談 176件	昨年度に比べて相談件数が約20件増加、特に電話・メール相談が増加していることを見ると、気軽に相談できる環境が整ってきました。 相談案件については、学校、スクールカウンセラー、関係機関等と連絡をとり共有を図りました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-3 II-6
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
ハートフル・スクール管理運営	教材の開発や教育相談に必要な消耗品や教材図書等を購入、ハートフル・スクールの維持管理を行いました。	消耗品等の購入に当たり在庫等を精査したことにより、支出を抑えることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-5
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
学校(幼稚園)医の検診	学校保健安全法の規定に基づき、各幼稚園及び学校に医師、歯科校医師、薬剤師を委嘱し、集団検診、就学時検診を実施しました。 委嘱人数(延べ人数) 医師 56人 歯科医 27人 薬剤師 17人	検診により病気等を早期に発見し、早期治療につなげ、園児児童生徒の健康管理を行いました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 I-10 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
幼稚園・学校給食の運営	安全で衛生的な給食の運営のため、消耗品（洗剤等）購入や、給食室害虫駆除及び設置備品等の点検を行いました。	年2回（春休み中、夏休み中）の害虫駆除に加え、日頃から衛生面に注意を払っています。食中毒の発生はありませんでした。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-1 II-5 II-8
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
幼稚園・学校の保健管理	園児児童生徒の健康管理のため、尿検査・心電図検査・結核検査等を行うとともに、保健室備品の計画的な整備を行いました。 日本スポーツ振興センターの実施している保険、全国市長会学校災害賠償保険に加入し、事故等の対応に備えました。	病気等を早期に見出し、早期治療に繋げ、園児児童生徒の健康管理を行いました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-1 II-5 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
白木地区児童生徒教育事務委託	白木地区の児童生徒で美浜町の学校に通学している児童生徒の事務委託を実施しました。 事務委託料の算定については、美浜町交付税単位費用額を参考に委託額を算定し、3年に1度、事務委託の算定額の見直しを行っています。	事務委託を実施することにより、地理的に白木地区に近い美浜町の学校で学習することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-2
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
学校支援員配置事業	<p>授業の補助や学級活動を支援し、生徒の教育環境を充実させるため、各支援員を全小中学校に配置し、学習活動や日常生活において学級担任等と連携しながら支援活動を行いました。</p> <p>1 学校支援員 小学校 15 人、中学校 5 人</p> <p>2 学校図書館司書支援員 小学校 11 人、中学校 4 人</p> <p>3 外国語活動支援員 小学校 9 人</p> <p>4 学級復帰支援員 中学校 1 人</p> <p>5 小中一貫学校支援員 4 人</p>	<p>30年度から4名増員し、学校になじめない児童生徒の不安解消とともに担任教員等の負担を軽減しました。</p> <p>小中一貫学校支援員は、小学校と中学校を兼務し小中学校間の情報共有、一貫した指導の支援を行いました。</p>	<table border="1" data-bbox="1015 331 1197 651"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>II-6</p>
有効性	A											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
図書等の購入	<p>学校教育に必要な教師用教科書・指導書、社会科副読本「きょう土の生活」、「松下むめ文庫」図書、教師指導用図書、学校図書館用図書、つるが子どもの詩を購入しました。</p> <p>さらに社会科副読本「わたしたちのまち敦賀」を改訂し発行しました。(2年に1回改訂)</p>	<p>敦賀の地理歴史の図書を取り入れ、身近な地域についての理解を深めることができました。</p>	<table border="1" data-bbox="1015 1048 1197 1368"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>II-4</p>
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
学校間情報ネットワークシステム管理運営	<p>教職員の情報の共有化や事務の効率化、省力化を促進し、児童の指導、教材開発や研究時間が十分図れるように、ネットワークシステムの維持管理を行いました。</p> <p>維持管理のためにL2SW機器(学校内ネットワーク機器)の借上げを行いました。</p>	<p>毎月1回の定期的な保守管理を行うことにより、システムトラブルもなく円滑な処理を行うことができました。</p>	<table border="1" data-bbox="1015 1473 1197 1794"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>II-4 II-5</p>
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
遠隔授業・研修システム整備事業	遠隔地との情報交換及び授業を拡充するため、各学校に整備してある遠隔授業・研修システムの追加整備を行いました。 小学校 10校 中学校 3校	今回の整備により、授業や研修での同時使用や、同日に複数回使用する場合等の事前準備が可能になるなど、より活しやすくなりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-4 II-5
有効性	A											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
教育用コンピュータ管理運営	教育用コンピュータ及びデジタル教科書の利用により、情報機器の利活用と情報教育の更なる推進を図りました。また、正常に稼働させるため、センターサーバ及び教師用パソコンの保守管理を行いました。	デジタル教科書は、特に理科や社会の教科で使用され、児童生徒にとってわかりやすく興味のある授業の一助となっています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-4 II-5
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
要保護・準要保護児童生徒就学援助	学校教育法第19条に基づき、経済的理由により就学困難な児童に学用品費等の援助を行いました。 新入学用品費については、平成31年度新1年生の保護者に対し、入学前支給しました。 1 要保護児童生徒数 0人 2 準要保護児童生徒数 492人	保護者の経済的負担の軽減を図りました。 学校徴収金が未納の保護者については、学校口座を經由し支給することで未納対策にも効果的でした。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
特別支援学級就学奨励	各小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励を行いました。 認定児童生徒数 124人	保護者の経済的負担の軽減を図りました。 学校徴収金が未納の保護者については、学校口座を經由し支給することで未納対策にも効果的でした。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
消耗教材等整備	各小中学校に必要な教材消耗品の購入や教材備品等の修繕を行いました。	予算配分の中で、学校運営に支障がないように必要な消耗品の購入や楽器等の修繕、ピアノ調律を行いました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-5
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
松下むめ文庫基金積立金	松下むめ文庫基金利子の積立を行いました。	松下むめ文庫の充実を図ることで、児童の本を読む機会を増やすとともに、豊かな心の育成につながりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-4
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
幼稚園管理運営費	公立幼稚園2園の必要な教材消耗品の購入や光熱水費の支払、教材備品等の修繕を行いました。	園児が安全に園生活を送れるよう老朽化した遊具等の修繕を行いました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-4 II-5
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
施設型給付事業費	<p>子ども・子育て支援新制度へ移行した「私立幼稚園」「認定こども園」に対して、教育・保育に要する経費を給付しました。</p> <p>30年度から予算執行において、1号認定（教育部分）については学校教育課が、2・3号認定（保育部分）については児童家庭課が、それぞれ所管課となりました。</p> <p>1 対象幼稚園 敦賀教会幼稚園</p> <p>2 対象認定こども園 早翠幼稚園、第二早翠幼稚園、さみどり保育園、新和さみどり保育園</p>	各幼稚園等に対し、財政的支援をすることにより、施設整備の充実、延長保育など管理運営の充実を図ることができました。	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ-13
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
一時預かり等事業費	<p>敦賀市の子ども・子育て支援事業計画に従って実施される一時預かり事業を実施する私立幼稚園に対し、利用実績に応じた交付金を交付しました。</p> <p>また延長保育事業については、対象となる園児が2号認定（保育部分）であるため、平成30年度から児童家庭課の所管となりました。</p> <p>対象幼稚園 敦賀教会幼稚園</p> <p>実施日数 平日 192日 長期休業日 32日 休日（土日祝）0日</p> <p>利用実績人数 2,433人</p>	財政的支援をすることにより、保護者の緊急や特別な理由による一時的な預かり保育が可能となり、安心して子育てができる環境を整えることができました。	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ-13
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
私立幼稚園運営費等補助金	<p>私立幼稚園等が産休等代替職員を任用するにあたり、所要経費に対し補助金を交付し、職員の母体の保護を図りつつ、私立幼稚園等における幼児の処遇確保を図りました。</p> <p>対象認定こども園 早翠幼稚園</p>	<p>本補助金を交付することにより、幼稚園の教員入替えに伴う費用の負担軽減を行うことができました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ－１３
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
その他諸経費	<p>教員、園児児童生徒に必要な物品の購入、学力調査の実施及び校外活動等を行いました。</p>	<p>園外校外学習のバス借上げにより、安全に校外学習を実施することができました。</p> <p>学力調査の実施により、児童生徒の学習状況を把握することができました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ－３ Ⅱ－４ Ⅱ－５ Ⅱ－６
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

学校給食センター 自己点検・評価報告書（まとめ）

児童・生徒に必要な栄養摂取量を確保し、安心安全で魅力ある給食を提供するための給食関係業務を実施しました。

学校給食センターの管理運営について

米飯、副食ともに提供を受ける完全給食供給校（小学校5校、中学校2校、幼稚園1園）と米飯供給校（小学校2校、中学校2校）に対し給食の提供を行う学校給食センターの管理運営を行っています。

施設は昭和59年度の供用開始から35年、附帯する設備もほとんどが耐用年数を経過しており、経年劣化による故障が増加しています。また、旧来の設計であるため、文部科学省が定める「学校給食衛生管理基準」等に完全に合致しておらず、食中毒の防止についても細心の注意を払う必要があります。

施設の維持修繕については、予算確保の上、計画的に実施しました。食中毒については、水質検査や設備・食品の衛生検査及び薬品による消毒作業等を行い、未然防止に努めました。

給食材料の購入について

児童・生徒に必要な栄養摂取量を確保し、安心安全で魅力ある給食を提供するための食材料の購入を行っています。食材料の購入に当たっては、県農林水産部、学校給食会、卸売業者及び生産者等と連携し、可能な限り地場産食材を取り入れています。

今年度は、完全給食供給校に559,972食、米飯供給校に178,000食を提供しました。地場産食材の使用率については、県内産40.2%、市内産12.1%でした。

給食配送業務について

平成15年度から業務委託を開始している給食の配送及び回収業務です。

委託業者に配送車両の日常・定期点検を徹底させ、配送車両の故障や交通事故なく、給食を配送できました。

給食調理業務について

平成16年度から業務委託を開始している給食の調理及び食器類の洗浄業務です。

委託業者に調理器具等の日常点検や食中毒の防止等を徹底させ、安心安全な給食を提供できました。

ふくい在地場産学校給食推進事業（平成30年度～令和2年度）について

福井県の特産食材などの地場産食材を使用した学校給食を児童・生徒に提供するとともに、それらを教材とした食に関する授業を実施することを通して、地域の農林水産業や食文化への理解を深め、児童・生徒にふるさと福井を誇りに思う心を育むことを目的にした県の補助事業です。

今年度は、7月、11月、12月にそれぞれ一回ずつ福井県の特産食材を使用した給食を提供しました。

○給食センター

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
給食センター管理運営(施設修繕)	<p>施設は昭和59年度の供用開始から35年、附帯する設備もほとんどが耐用年数を経過しており、経年劣化による故障が増加しています。</p> <p>大規模な修繕については、予算確保の上、全14件を給食提供に支障が出ない夏季休業中に計画的に実施しました。</p> <p>突発的な修繕については、日常点検を行い、故障の未然防止に努め、簡易なものは極力、職員で修理することで、業者への発注を抑えました。</p>	<p>給食の提供に大きな影響なく施設の管理運営ができました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
給食センター管理運営(その他)	<p>水質検査や設備・食品の衛生検査及び薬品による消毒作業等により、食中毒を未然に防ぎ、調理機器等の維持管理により、給食の調理・配送業務を円滑に行うことができました。</p> <p>燃料・光熱水費については、調理業者に燃料等の使用量を周知し、節約を求めるとともに、季節によってボイラーの稼働時間を調整し、燃料の使用を抑えました。</p>	<p>食中毒や機器の故障による大きな問題なく管理運営ができました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 1 II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
学校給食材料の購入	<p>食材料の納入の際には、栄養教諭立会いの下で検収を行い、数量や品質の確認を行うとともに、業者に対し産地、加工地の確認及び成分分析等を徹底し、品質の確保や納入の遅延防止に努めました。</p>	<p>大きなトラブルなく、食材料の購入を行うことができました。</p> <p>また、地場産食材を積極的に取り入れました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 9
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
給食配送業務	<p>配送業者と連携し、給食開始時間の変更等による配送時間の変更に対応した結果、給食の遅配はありませんでした。</p> <p>また、配送業者に対し、配送車両の日常・定期点検及び安全衛生管理の指導の徹底を行いました。</p>	<p>配送車両の故障や交通事故なく、給食を配送できました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
給食調理業務	<p>調理業者に調理器具等の日常点検を徹底させるとともに、衛生管理研修会の実施等により、調理器具の故障や食中毒を未然に防ぎ、安心安全な給食を提供できました。</p>	<p>調理器具の故障や食中毒等を未然に防ぎ、安心安全な給食を提供できました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
ふくいので場産学校給食推進事業	<p>福井県の特産食材などの地場産食材を使用した学校給食を児童・生徒に提供するとともに、それらを教材とした食に関する授業を実施することを通して、地域の農林水産業や食文化への理解を深め、児童・生徒にふるさと福井を誇りに思う心を育むことを目的にした県の補助事業を実施しました。</p> <p>(参考) 実施時期・献立名 7月 ふくいサーモンの塩焼き 外 11月 ブリの唐揚げ和風だれかけ 外 12月 敦賀ふぐの唐揚げ 外</p>	<p>県の補助事業の目的を達成することができました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 9
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											

生涯学習課 自己点検・評価報告書 (まとめ)

生涯学習課関係事業は各種講座・学級の開設や自主学習教室の育成など、生涯学習の推進と、少年交歓研修、成人式、地区事業の運営協力など人づくり、地域づくりの推進を目指して事業を行いました。

① 数値目標の達成状況と分析

【主催事業利用者実績 (年度末)・・・講座・教室・学級・行事参加数】

※10ヶ所 (9公民館及び生涯学習センター)

H28年度	59,132人
H29年度	57,149人
H30年度	65,191人

【増減理由】

- ・主催事業利用者は昨年比8,042人の増加となっております。男女共同参画センターが南公民館に移転したことに伴い、これまで男女共同参画センターを利用していた団体が、南、栗野公民館、生涯学習センターで、計11団体利用することになったことと、年度途中も含め北、中郷、栗野公民館で、新規教室が4教室増加したことによると考えられます。
- ・今年度も社会教育施設として、住民ニーズを把握し、魅力ある教室が開催できるよう随時見直していくことが必要と考え、スマホを用いた講座を取り入れたり、放課後子ども教室では児童クラブと連携した教室を開催したことも、参加者の増加につながったと考えられます。今後も社会教育の重点施策「社会教育施設の円滑な運営」にある生涯学習の立場にたって、地域住民の多種多様な学習要求に応えると共に、自主的で活発な学習活動が展開されるよう、学習機会の拡充と内容の充実に努めていきます。

【生涯学習施設利用者数 (年度末)】

H28年度	124,367人
H29年度	126,345人
H30年度	134,652人

【増減理由】

- ・施設の利用者数は、昨年度比8,307人の増加となっています。
- ・男女共同参画センターの移転により団体が、公民館を利用することによる増加と考えられます。生涯学習課及び公民館は、社会教育の方向や公民館運営方針に基づいて、地域の実情に応じた利用に努めています。

【大会、研修会参加数 (年度末)】

H28年度	2,964人
H29年度	2,193人
H30年度	3,174人

【増減理由】

- ・公民館が主催し開催した各種大会等（文化祭、演芸のつどい、講演会等）に参加した人数で、昨年度比981人の増加となっております。
- ・継続的に行われている高齢者を対象とした寿学級などにおいて、演奏会などの催し物の内容により、参加者数に変動が見られる傾向があります。
- ・今後、地域社会が必要とするリーダーの育成に公民館が各種団体と連携し、バックアップしていくことが求められると分析します。

② 生涯学習推進事業について

生涯学習センターでは受講希望者の多い英会話、韓国語、中国語、ペン字講座を開催しました。また、昨年度、男性限定でマジック講座を開催しましたが、今年度は性別を制限せず募集をかけたところ、47名と昨年より34名増加しました。さらに、今年度新たに、パソコン講座を開催し、41名の参加があり、新たな利用者の掘り起こしに努めました。

一方、公民館では、高齢者学級、女性学級などを開催し、健康、交通安全、子育て、時事問題など地域住民の身近にある様々なテーマで学習の場を提供し住民の自己研鑽に役立ちました。

また、生涯学習課と公民館において、受講生が自主的に運営している各種自主学習教室につきましては、運営の助言をし、発表の場である文化祭開催の協力を行うことで自主学習活動の育成を図り、住民の生きがいづくりに努めました。文化祭には、557名が来場し、昨年度の480名よりわずかですが、増加したことは、学習生の励みになるものと考えられるとともに、文化祭を機に、自主学習を始めるきっかけとなるよう、今後も継続して続けていきたいと考えております。自主学習教室は、111教室と増加していますが、今年度も高齢化等により、4教室解散したり、教室の参加者が10名に達しない教室も存在するため、文化祭でのPRや、ホームページでも掲載し、参加者の増加に努める必要があります。新規の自主学習教室の増加も必要と考えますが、今ある自主学習教室の充実の支援について検討することが必要と考えております。

③ 心ゆたかな人づくり事業について

平成30年度の姉妹都市水戸市との少年交歓研修につきましては、第51回目となる派遣は例年どおり8月に行いました。なお、53回目の受入については、3月末に実施し、交歓研修を途切れることなく継続して実施することができました。今年度は、受入において、敦賀独特な体験として、昆布かき体験を実施し、初めての体験ということで喜んでいただくことができました。

また、成人式も例年通り開催し、新成人の企画運営委員による進行で挙行了しました。平成28年度には、一部新成人において、式典の進行の妨げとなるような行動があったため、式典の運営体制の見直し及び警察との打ち合わせを密に行い、妨害行為のない式典を行うことができました。今後も、新成人の自主性や協働意識を高められるよう、企画運営委員と調整を行っていくとともに、2022年の民法改正に伴い、18

歳成人となるため、今後の成人式について他市町の状況も踏まえ、検討を進めていきたいと考えております。

子育て講座として、保護者に対して、家庭教育の重要性や具体的な方法について学習する機会を就学児健康診断時に市内の11（市内13小学校の内3校合同開催）の小学校において実施しました。健康診断時であることで参加率も高いため、今後も継続して取り組んでいきます。また、今年度は、社会教育委員の会の提言書に基づき、中学生の入学説明会時に、保護者に、SNSについての講座を4中学校で開催し、フィルタリングについてなど、携帯電話会社の方を講師に招いて行いました。

④ 地域づくり事業について

生涯学習課ではふるさとづくり運動、小さな親切運動、敦賀市民憲章推進運動などを推し進め、また、人権研修会を開催するなどぬくもりのある地域づくりを目指しました。

なお、人権啓発に関連しては、生涯学習センターの主催講座の講師に協力依頼し、主催講座の時間を利用して人権教育研修会を開催したほか、人権週間に合わせて毎年開催している敦賀市人権教育指導者研修会では、市民一人ひとりが人権問題についての認識を深め、人権尊重の社会が確立するよう努めました。

また、公民館では、体育大会、クリーン作戦などを住民と力を合わせて開催し、地区の豊かなコミュニティづくりを目指しました。今後も地区の特性を活かした事業展開を目指していきたいと考えております。

地域コミュニティモデル事業として、住民主導で地域活性化、世代間交流、防災等の事業を通じて、地区内の地域振興に取り組む組織に交付金を交付し、組織を支援しました。本事業の取り組み3年目となる栗野コミュニティ運営協議会から今年度も申請があり、地域の人々が公民館に集う事業を展開し、参加者の増加が成果となって現われたと考えております。今年度は新たに、栗野地区の歴史に焦点を当てた、芋粥セミナーを開催し、地区の歴史を再認識し、地域への愛着を深める事業を行いました。今後も、人々が集い、つながりが持てる事業が展開されるよう支援してまいります。また、今年度は各区長会長にご意見をお伺いしましたが、地区の実情等を把握しながら、少しずつでも地区住民がつながりを持てるようにコミュニティ事業が活用できるよう検討していきます。

⑤ まとめ

自主学習教室については、社会全体の高齢化に伴い受講生も高齢化の傾向にありますが、生涯学習センターと各公民館で教室を開催し、受講しやすい環境を整備することで年々受講者数が増え、平成29年度からは4万人を超えるようになりました。

生涯学習課及び公民館の主催講座では、敦賀市の特色ある生涯学習に繋がるような語学講座（韓国語、中国語、英語）の受講者を増やすことや、市民のニーズにあった講座を開催するために、流行を取り入れたり、これまで生涯学習にあまり興味を持たない方々に対し、生涯学習のきっかけづくりができるよう新しい講座を開催すること

に取り組みました。今後は、これまで行ってきた通年の講座を、半年のスパンなど、受講期間を短くすることで、より気軽に講座に参加できる体制をつくることも必要と考えます。また、生涯学習センターと公民館が連携し、センターでまず開催した教室を、各公民館で広げていけるよう協力して、生涯学習の推進に努めていきます。

敦賀市社会教育委員の活動では、平成30年3月に教育長に提出した家庭教育に関する提言書に基づき、中学入学時説明会時にも保護者に対しての思春期子育て講座を継続するとともに、家庭教育に関するリーフレットを作成するため、委員で他市等のパンフレットを参考にしながら、協議し、次年度の完成に向けて、内容の検討を行ってまいります。

放課後地域子ども教室は全公民館で実施し、2年目となった愛発公民館では、地区に小学校がないため、多くの参加は望めないものの、料理教室を加え3回開催し、児童22名が参加しました。また、松原公民館においては、児童クラブと連携し、平日にニュースポーツ教室を開催し、10回で200名の参加がありました。今後は、他公民館でも児童クラブとの連携を考え、また、教室内容の見直しを随時行い、子どもたちに安全で安心な居場所、楽しい時間を提供し、気軽に公民館を訪れる環境づくりに努めていきます。

以上のように、これまでの内容を継続してだけでなく、住民に興味を持ってもらえるような、新しい発想を持って、生涯学習推進に努めていきたいと考えております。

生涯学習課

【生涯学習課の事務分掌】

- (1) 社会教育に必要な援助に関する事。
- (2) 社会教育委員の委嘱に関する事。
- (3) 社会教育施設の整備に関する事。
- (4) 社会教育と学校教育の連携に関する事。
- (5) 家庭教育に関する学習の機会の提供及び奨励に関する事。
- (6) PTA、社会教育団体等諸機関の指導育成に関する事。
- (7) 青少年の体験活動に関する事。
- (8) 社会教育に関する調査統計に関する事。
- (9) 生涯学習センターに関する事。
- (10) 図書館に関する事。
- (11) プラザ萬象に関する事。
- (12) 少年愛護センターに関する事。
- (13) 少年自然の家に関する事。
- (14) 公民館に関する事。
- (15) その他社会教育に関する事。

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類						
社会教育委員の活動	社会教育委員会議を4回開催し、社会教育事業について話し合いを持ちました。 教育長に対して提出した家庭教育に関して提言書に基づき、中学校入学説明会時にSNS講座を4中学校で開催、各公民館の親子体験教室の実施状況調査の実施、家庭教育リーフレット作成に向けた協議を行いました。	家庭教育支援に向けて社会教育委員が主体となって活動し、進められました。	①継続	Ⅱ - 9						
		<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>			有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B
有効性	A									
効果性	A									
効率性(コスト)	B									
効率性(人員)	B									
社会教育指導員の活動	生涯学習課に1名の指導員を週3日勤務させ、社会教育に関する指導や団体の育成に取り組みました。 平成30年6月～12月にかけて、生涯学習センターの主催講座6教室及び公民館を利用する10団体計284名に対しDVD視聴をしました。 平成30年9月6日に生涯学習センター関連職員13名に対し、体験型の人権ワークショップを中心とした研修を行いました。 平成30年11月14日に人権教育指導者研究会を一般市民、教員、支局員、企業等を対象に開催し、112名が参加しました。	人権教育などの指導を行い、社会教育活動の推進に寄与しました。	①継続	Ⅱ - 9						
		<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>			有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B
有効性	A									
効果性	A									
効率性(コスト)	B									
効率性(人員)	B									
成人式の開催	平成30年度に20歳となる新成人を対象に成人式を開催しました。 対象者675名のうち606名参加のもと、新成人による企画運営委員により、式典の受付や司会進行、アトラクションを行い、一部新成人による進行の妨げもなく、無事執り行うことができました。	新成人としての自覚を持つこと、自主性を高めること、市との協働という意識を持っていただくことに役立てることができました。	① 継続	Ⅱ - 9						
		<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>			有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B
有効性	A									
効果性	A									
効率性(コスト)	B									
効率性(人員)	B									

姉妹都市 水戸市と の交流	平成29年度に募集した小学5年生16名が、平成30年8月に水戸市へ2泊3日の日程で訪問研修を実施し、新たに平成30年度に募集した小学5年生18名が平成31年3月に水戸市小学生を受入れました。 受入の際には、今年度はじめて敦賀独特の体験として、昆布かき体験を行いました。 また、今年度は、国体が福井県で開催されたことに伴い、武田耕雲齋等の墓の前庭に、明治100年福井国体植樹に続き、明治150年福井国体・障スポ記念植樹碑の除幕式を開催し、水戸市長をはじめ関連市の方々を招くとともに、研修生も参加し、除幕しました。	研修を通して、両市の歴史や文化を知り、研修生どうしの交流・親睦を深め、姉妹都市としての親善友好の絆をさらに深めるとともに、郷土愛の高揚を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	①継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	A												
ふるさと 創り運動 の推進	ふるさと創り運動の団体(あすの福井県を創る協会)へ負担金と生活学校へ補助金を交付し、まちづくりや地域活性化の推進を図りました。 あすの福井県を創る協会の活動・県民のつどい開催、ラジオ体操運動の推進等 生活学校の活動…アルミ付き紙パック回収運動の実施等	地域での地道な活動を継続することで、まちづくりの活性化が図られています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
小さな親 切運動の 推進	「小さな親切運動」敦賀支部の事務を取り扱うと共に補助金を交付し、まちづくりや人づくりを通して市民相互の連帯意識の高揚、地域の活性化を図りました。 今年度は国体が開催されたこともあり、協議が開催される運動公園でクリーン作戦を実施しました。 「小さな親切運動」敦賀支部の活動…あいさつ運動の推進、クリーン作戦実施・親子フェスティバルへの参加、実行章の推薦及び表彰等	会員の積極的な活動の展開により、支部活動が市民へ浸透し地域活性化の目的を果たしています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
連合婦人 会の支援	敦賀市連合婦人会へ補助金を交付し、婦人としての教養を高めるとともに、青少年の育成をはじめとした奉仕活動を通して地域の活性化を図りました。 敦賀市連合婦人会の活動…交通安全街頭指導の実施、食べきり運動研修会として、2保育園で紙芝居実施等	会員の研修や仲間作りの推進により、生きがいのある地域社会の形成に努めています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
P T A 連 合会の支 援	敦賀市P T A連合会へ補助金を交付し、P T Aの活性化や児童・生徒の健全育成のための諸活動を支援しました。 敦賀市P T A連合会の活動…子どもの幸せを考えるつどいの開催、市P連だよりの発行等	児童・生徒の健全育成に関し、学校・地域・家庭の連携の強化に努めています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

敦賀市民憲章推進会議事業推進	<p>敦賀市民憲章推進会議の事業を推進するとともに補助金を交付し、地域づくりを推進し敦賀市民としての郷土愛を高め、誇りあるふるさとづくりの推進に努めました。</p> <p>今年度は市民憲章・市歌普及のためにクリアファイルを作成し、配布しました。</p> <p>敦賀市民憲章推進協議会の活動…広報紙コンクールの開催、青少年健全育成環境浄化パレード参加等</p>	<p>敦賀市民憲章の普及啓発の継続と、市民の郷土愛の高揚に努めることができ、心豊かな人づくりに貢献することができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
青少年育成団体の支援	<p>敦賀海洋少年団、敦賀スカウト連絡協議会及び粟野子育てネットワークへ補助金を交付し、団体の育成と事業活性化を図りました。</p> <p>敦賀海洋少年団の活動…ロシア人墓地清掃奉仕、カッターレースの開催等</p> <p>敦賀スカウト連絡協議会の活動…子どもの国祭り出店、親子フェスティバル参加等</p> <p>粟野子育てネットワークの活動…親子体験学習会、悩み事相談の実施等</p>	<p>青少年育成団体の育成、事業活性化に役立ち、青少年の健全育成に寄与することができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
その他の活動	<p>人権教育指導者研修会を開催するとともに、社会教育指導員研修会、人権教育研修会等に参加しました。</p> <p>市内全小学校（内3校合同開催）で、新入学児の健康診断の際、保護者に子育て講座を開講しました。また、今年度から、中学校入学説明会時に携帯電話会社の方を講師に招き、SNSなどの内容を取り扱った講座を保護者に対して行いました（4中学校）。</p> <p>公民館職員研修（5回）を開催しました。</p>	<p>人権知識の向上が図られ、人づくりに役立ちました。</p> <p>新入学児童保護者の子育て基礎知識の習得に役立ちました。公民館職員の資質向上に役立ちました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

<p>生涯学習課の各種講座等の開催及び自主学習教室の育成</p>	<p>英会話講座 60回開催 中国語講座 30回開催 韓国語講座 30回開催 ペン字・筆ペン講座 60回開催 チョークアート講座 4回開催 マジック講座 4回開催 パソコン講座 5回開催 合計 193回</p> <p>市民かるた大会開催 こどもかるた大会開催支援 市長杯囲碁将棋大会開催 王座戦囲碁将棋大会共催 生涯学習センター文化祭(自主学習教室による)開催</p> <p>各種講座及び各種自主学習教室(生涯学習センター分) 平成30年度名5,921名 (6,066名)</p> <p>(内訳) 各種講座 3,036名 (2,796名) 各種自主学習講座 2,885名 (3,270名)</p> <p>()内はH29年度実績 ニーズの高い講座の実施に努めたことにより、幅広い年齢層の方に受講いただくことができました。</p>	<p>生涯学習センター主催で各講座を開催しました。語学講座においては、各言語の基礎知識と国際性豊かな教養を身につけました。ペン字・筆ペン講座等においては、個人の自己研鑽のための内容、あるいは地域社会や職場でも役立つ内容の講座を学習し、生活をより楽しく、より豊かなものにするに資することができました。</p> <p>今年度新たに趣味の講座を短期に開催し、生涯学習のきっかけづくりを提供することができました。囲碁将棋大会、かるた大会においては、市民が楽しく集い、有意義な生涯学習の場とすることができました。文化祭においては、文化的素養の向上と自己研鑽に励んでいる生涯学習課、各自学習教室の皆様への発表の場として、日頃の学習の成果を広く市民の皆様へ発表し、活力に満ちた生涯学習のまちづくり推進に役立ちました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>生涯学習センターの管理運営</p>	<p>生涯学習センターの管理運営に必要な消耗品及び電信電話料を支出しました。</p>	<p>支出の削減を念頭に、適切に管理運営を行いました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 9</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>公民館運営審議会委員の活動</p>	<p>各公民館の年間の事業実施計画と事業報告について審議いただいた結果、公民館事業に関する貴重な意見をいただきました。 年間2回開催(9公民館)</p>	<p>公民館活動が地域住民と行政との緊密な連携のもとに進められています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>公民館の管理運営</p>	<p>公民館が機能を充分発揮できるよう、消防設備保守点検、保安警備、自家用電気工作物保安業務、エレベーター保守点検、冷暖房設備切替保守点検、清掃業務等保守管理業務等を業者に委託することで円滑な設備等の維持が図られました。また、必要な修繕を行いました。</p>	<p>各種保守点検等を業者へ委託することにより、施設の維持管理が適切に行われています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

放課後地域子ども教室推進事業	<p>市内小学校児童を対象に、地区の指導者の特技を活かした教室を、放課後や長期休業中に公民館で開催しました。また、ふれあい交流や、軽スポーツなどの教室を開催しました。</p> <p>東浦公民館 59名 北公民館 784名 南公民館 623名 西公民館 294名 東郷公民館 300名 中郷公民館 372名 愛発公民館 22名 粟野公民館 175名 松原公民館 788名</p> <p>合計 3,417名</p>	各公民館を活動拠点として、放課後や休日の子どもの安全な居場所づくりができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
各公民館生涯学習推進事業の実施	<p>高齢者学級、女性学級等を開催するとともに、各種自主学習教室の運営を支援し、地域住民の生涯学習を推進しました。また、地域における防災教育、スポーツ、環境美化啓発活動等の事業を地域住民とともに開催し、地域づくりを推進しました。</p> <p>東浦公民館 505名 北公民館 5,380名 南公民館 5,142名 西公民館 9,538名 東郷公民館 3,267名 中郷公民館 2,876名 愛発公民館 399名 粟野公民館 14,667名 松原公民館 13,657名</p> <p>合計 55,431名</p>	全館民間館長の運営のもと、地域住民と力を合わせ、身近な学習の場及び地域づくりの場を提供することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
地域コミュニティモデル推進の実施	<p>住民主導で、地域活性化、世代間交流、防災等の事業を通して、地域振興を図るため、事業に取り組む粟野コミュニティ運営協議会に対し、交付金を交付しました。また、他地区にも広められるよう、区長会長に説明するとともに地区の状況をお聞きしました。</p> <p>粟野コミュニティ運営協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌発行 ・ちょっと素敵なコンサート開催 ・芋粥歴史セミナー開催 ・クリーン作戦実施 ・スポーツパーティ実施(グラウンドゴルフ) ・ふる里まつり開催 ・河川等安全確認パトロール実施 ・防災訓練実施 ・あいさつ運動キャンペーン開催 ・AWANO 秋まつり開催 ・健康・脳活「麻雀大会」開催 ・高齢者いきいき元気塾開催 	地域コミュニティモデル地区に対し、交付金を交付し、住民の自主的な地域コミュニティ活動を支援しました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

図書館 自己点検・評価報告書（まとめ）

図書館業務

図書館の開館時間は、図書館運営規則により平日は午前10時から午後7時まで、土・日曜日は午前10時から午後6時までとなっておりますが、6月から9月までの期間を、教育委員会の承認を得て、午前9時30分からの開館時間といたしました。30分早く開館することにより、市民の利用ニーズに対応できる環境を整えています。

第6次敦賀市総合計画後期基本計画及び教育振興基本計画により「地域の知の拠点」の機能に加え、「まちづくりの拠点」としての機能を併せ持つ施設として、市民が利用しやすい環境づくりを進め、利用者の増加に努めてまいります。

さらに、敦賀市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもから大人までが幅広く読書に親しみ、次代を担う子どもたちの健全な育成を目標とし、家庭や地域、学校などと協力・連携して、読書推進活動を総合的かつ効果的に進めてまいります。

図書館利用状況（栗野公民館図書コーナーを含む）

	開館日数	のべ利用者数	1日平均利用者数	のべ貸出冊数	1日平均貸出冊数	登録者数
平成28年度	274	193,562	706	298,285	1,089	756
平成29年度	279	200,966	720	286,673	1,028	772
平成30年度	279	202,648	726	289,832	1,039	839

図書予約状況

(件)

	予約総数	ネット件数	窓口件数
平成28年度	15,700	11,463	4,237
平成29年度	15,313	8,969	6,344
平成30年度	15,182	9,217	5,965

昨年度と比較すると、開館日数は同じですが、1日平均の貸出冊数、利用者数とも増加しました。予約状況においては、ネット件数と窓口件数に増減はありましたが、総数では昨年並みの件数になりました。

図書館の管理運営

図書館システムの堅実な運用を確保し、館内各設備機器等の確実な動作と安全のための保守管理・施設等修繕を実施し、円滑な運営を行いました。

今後も図書館業務の効率化・迅速化を図り利用者の利便性向上に努めます。

図書の購入

図書の購入については、見計らい本並びにブックキャラバンの現物選書を実施し、また新聞書評等を参考にして選書いたしました。

今後も特色ある図書館を目指し、「地域の知の拠点・まちづくりの拠点」として蔵書の充実に努めます。

図書館蔵書受入状況 (冊)

	前年度 蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	その他	除籍冊数	3月末 蔵書冊数
平成28年度	256,338	5,241	3,273	2,140	4,905	262,087 (5,749 増)
平成29年度	262,087	5,530	1,004	1	1,777	266,845 (4,758 増)
平成30年度	266,845	6,287	1,673	24	1,491	273,338 (6,493 増)

ブックスタート事業

ブックスタート事業は、生後7ヶ月の乳児とその保護者を対象に（健康管理センターの7ヶ月児すくすく相談事業に合わせる）親子で本にふれあうことの大切さをアドバイスし、心ふれあうひとときをもつ契機とすることができました。

今後も、より多くの親子が絵本を開く時間の楽しさを、体験できるよう努めていきます。

ブックスタート参加状況 (人)

	対象者数	図書館	子育て総合 支援センター	栗野子育て 支援センター	合計 参加者	参加率
平成28年度	560	158	121	150	429	77%
平成29年度	568	179	117	150	446	79%
平成30年度	525	184	114	131	429	82%

ブックスタート事業の参加率向上のため、市内8カ所の小児科・産婦人科施設に啓発ポスターを配布し、事業の周知に努めるとともに、ブックスタート未参加の方には、再度案内通知を送付しました。

図書利用推進事業

図書利用推進事業は、学校の図書室や、幼稚園、保育園・児童クラブ等に図書を配架し、図書の利用推進を図りました。

配架先は44施設で実施しており、今後も事業推進を図ってまいります。

図書利用推進貸出状況

	貸出施設数	貸出冊数
平成28年度	41施設	20,975冊
平成29年度	39施設	20,950冊
平成30年度	44施設	22,960冊

配架先は5施設増えたため、貸出冊数は増加となりました。

視聴覚ライブラリー

家庭環境でも視聴覚機器等は充実してきている関係もあり、利用状況が伸びることは期待できない状況ではありますが、今後も視聴覚資料の充実と環境整備等を実施して、利用者の拡大を図ります。

視聴覚コーナー利用統計

(人)

	DVD	インターネット	音楽CD 他	合計	大人	子ども	1日平均
平成28年度	2,711	1,142	72	3,925	1,727	2,198	15
平成29年度	2,584	3,111	64	5,759	2,640	3,119	21
平成30年度	2,716	4,181	88	6,985	3,283	3,702	25

インターネットの利用件数が増えたことにより、利用者数が増加しました。
平成30年度のDVD・CD購入枚数は41枚です。

○図書館

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
図書館業務	図書館業務は、通常10時開館のところ、6月から9月までの期間に限り、開館時間を30分早めて、9時30分の開館とし、利用者の利便性を図りました。	図書館業務、3階視聴覚コーナー業務について、親切・丁寧・迅速・公平なサービスを実施することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
図書館の管理運営	館内各設備機器（消防設備等・エレベーター設備・電気工作物の保安設備・冷暖房設備等）の確実な動作と安全のため、保守管理業務を委託しました。	館内各設備機器のシステム等の確実な動作と安全のため、保守管理を行い、また施設等修繕を実施いたしました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-1
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
図書の購入	図書館として、市民が気軽に利用できるよう、要望に応えながら蔵書を整備し、市民サービスの向上に努めました。書店組合からの見計らい本及びブックキャラバンの現物選書、また新聞書評を参考にして選書いたしました。年間購入冊数は6,287冊、予約数は15,182件となりました。	市民の学習・情報発信の拠点として蔵書の充実を図り、利用者の要望に迅速に応えることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②拡大	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
ブックスタート事業	7ヶ月の乳児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行い、絵本とバッグを手渡し、乳児期から親子で本にふれあうことの大切さを体験できるよう努めました。毎月、図書館他2カ所において実施しました。啓発ポスターの配布や、再案内の通知を実施した結果、対象者数525名のうち429名の参加（参加率81.7%）となりました。	乳児とその保護者が向き合い、心ふれあうひとときをもつことができました。いっしょに絵本を開く時間の楽しさを体験し、家庭においても絵本をとおしてふれあう時間をもつ契機となりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	A	①継続	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	A												
情報システム整備事業	ICタグ方式の図書館システムに係る機器等の借り上げ及び保守管理業務の委託を実施し、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図りました。	IC機器を活用した図書館システムにより、利用者の利便性の向上、プライバシー保護及び、図書館業務の迅速化に努めました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-1
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
図書利用推進事業	学校の図書室・各保育園・児童クラブ等へ図書を配架し、図書の利用を促すことにより、児童・生徒の読書活動を推進いたしました。	学校の図書室・各保育園・児童クラブ等へ毎月図書を配架することにより、図書の利用推進を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
視聴覚ライブラリー	視聴覚コーナーでの、サービスの提供と利用者の拡大を図るため、視聴覚資料の充実と機器等の保守管理業務を実施いたしました。年間利用者数は、6,985名となりました。	視聴覚コーナーでの利用者サービスを迅速に進め、利用者の拡大に務めました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

プラザ萬象自己点検・評価報告書(まとめ)

プラザ萬象は、市民相互のふれあいの場、つどいの場、団体活動推進の場として、あらゆるニーズに応えられるよう総合的な機能を持った多目的会館です。

① 数値目標の達成状況と分析について

【利用者数実績（年度末）】

H28年度	74,315人
H29年度	68,715人
H30年度	75,833人

【増減理由】

- ・平成30年度は、前年比7,118人増となりました。稼働率は大ホールで0.9ポイント、会議室（4部屋）で5.3ポイント、和室（4部屋）2.9ポイント増加しています。これは敦賀まつりでネット配信型のイベントが開催されたほか、単年度単発イベントが多かったことが考えられます。また、大雪など天候面での利用者減少がなかったことも、利用者増につながっています。会議室の利用においては、利用の希望があれば空いている限り利用して頂くことを心掛け、今年度利用者数の増加につながったと考えており、今後も継続していきたいと考えています。

② 利用者の拡大について

プラザ萬象は総合的な機能を持った多目的会館ですので、舞台での催し、展示、祝宴、会議など様々な用途に利用できること、JR敦賀駅から近いうえ駐車場も広くアクセスしやすいこと、休日に比べ平日はホールの使用料を低額に設定していることなどを、今後も継続してホームページでPRし利用者の拡大を図ります。今後は老朽化に伴う改修工事も必要となってくることから、利用者数が減少するケースが考えられますが、施設の維持には必要な改修工事であるため、なるべく利用者があまり不便にならないよう配慮した工事時期や工事内容を検討し、利用者の落ち込みを最小限にしていくことが必要であると考えます。

③ 利用しやすい環境づくりについて

職員の受付事務や、催事の運営等に関する助言や協力もこれまで同様丁寧に行うとともに、出来る限り利用していただく方の要望に応えるよう、「断らない」受付を心がけていきます。建物・設備の管理についても維持修繕を施し、安全で安心、快適に利用していただけるよう努めてまいります。

○プラザ萬象

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
施設管理運営のための業務の委託及び施設の活用のための管理運営	各種業務を委託するとともに、施設維持に必要な光熱水費、修繕費、電信電話料、消耗品等を確保し、小規模修理必要箇所を修繕し、貸館として施設の維持管理を行いました。	各設備を正常に使用することができました。 また、全ての舞台運営について、滞りなく完了することができ、安全で快適な館利用につながりました。	<table border="1" data-bbox="1114 394 1257 591"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p data-bbox="1305 461 1385 488">①継続</p>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	II - 9
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
老朽化した施設等の改修のための工事	老朽化に伴う施設及び設備の改修を行いました。また、国道8号歩道整備事業に伴う拡幅部分となる敷地内の工作物撤去及び移設や、移設撤去した部分の外構工事を行いました。さらに、9月4日の台風21号により被災した正面玄関の改修を行いました。 大ホール屋根等改修工事 団体室及び茶室エアコン取替 大ホール音響調整卓取替 大ホール客席及び舞台照明調光基盤取替 国道事業に伴う敷地内工作物移設撤去 国道事業に伴う外構工事 正面玄関改修工事 等	改修により、施設の維持が適切に行われました。	<table border="1" data-bbox="1114 788 1257 985"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p data-bbox="1305 855 1385 882">②継続</p>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	II - 9
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

少年愛護センター 自己点検・評価報告書 (まとめ)

少年愛護センターは、青少年の健全な育成を図ることを目的に、各関係機関や青少年育成団体と連携し、補導活動、相談活動、青少年健全育成活動に取り組みました。

補導巡視における青少年への声かけにより、地域の人に見守られているという意識付けを行うとともに、体験行事や、社会学習、啓発行事を通じて、青少年の豊かな心の醸成に役立てることができました。

なお、育成者や市民全般へは行事を通じ、青少年育成の環境浄化や家庭教育の意識を高める取り組みを行いました。

また、家庭教育や青少年自身からの悩み相談に対応することで、心身ともに健やかな青少年の成長に資することができたと考えています。

1. 青少年補導活動について

補導とは、地域に住んでいる社会人として、わが子を愛するように地域の子を愛しこの地域を愛するという気持ちを持って、子どもたちに温かい目を注ぎ健やかな成長を見守る活動です。

平成30年度は91名の補導員により2人1組で年間を通じ延べ598回補導巡視を実施しました。

不良行為や非行につながりそうな行動をしている青少年がいたら「愛のひと声」運動を実施し、1年間に延べ969人の青少年に声かけを行いました。

声かけを行った場所としては、ゲームコーナーや量販店、書店が多く、その他公園、寺社、路上などでも声かけを行っています。

出来る限り多くの青少年に声かけを行いたいと考えていますが、近年、少子化、また、スマートフォン、携帯ゲーム機等の普及により、子どもたちが外出することが少なくなったせいか、ゲームコーナーや、公園等で見かける子どもが少なくなっています。

また、ネット機器の使用によるトラブルに対応した声かけを今後検討する必要があると考え、平成30年度は、例年実施している補導員研修に、スマートフォン等ネット上のトラブルに関する研修を取り入れ、補導員の理解を深めました。このことについては、長期的な取り組みの必要性があると感じており、今後も引き続き実施していきたいと考えています。

なお、青少年を取り巻く環境を少しでも良くするために、毎年1回、福井県からの依頼で社会環境調査を実施しています。

2. 青少年健全育成活動について

青少年健全育成敦賀市民会議と連携して「地域の子どもは地域ですこやかに育てよう」をスローガンに、各種青少年健全育成行事を実施し、親子、仲間、地域とのふれあいの場を提供や、青少年からのメッセージの発信等を行いました。地域住民の積極的な協力により、地域の子ども達を守り育てる意識の高揚に寄与しました。

・5月13日「親子のフェスティバル」を開催し、約4,500人の参加を得ました。

- ・ 7月28日「青少年育成敦賀市民大会」を開催し、約450人の参加を得ました。
- ・ 「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」作文、図画・ポスターの募集を行い、6,437通の応募があり、優秀作品を表彰しました。
- ・ 小学4～6年生を対象とした「ひまわり塾」を7月から11月に計3回開催し、延べ62名の参加を得ました。郷土の食に関する体験学習や、施設見学による社会学習を行い、郷土への愛着を深めました。

○少年愛護センター

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
青少年補導活動	総勢91名の補導員が、2人1組で延べ598回、市内の量販店などの補導巡視を行い、帰宅指導、校則遵守などの声かけを、延べ969人に行いました。	青少年への声かけにより、地域の人に見守られているという意識付けを行い、豊かな心の醸成につながりました。	①継続	II - 9
相談活動	「家庭教育相談」と「青少年の悩み相談」を中心に相談活動を行いました。 30年度の相談件数は97件で、相談傾向としては、児童生徒に関しては、性格・行動など、一般青少年からは、人生問題などが多く寄せられました。 また、少年愛護センターの家庭教育相談員は、年間51回小中学校を訪問し、教職員に対し、児童生徒の生活指導に関するアドバイスをを行いました。	相談に共感的に対応することにより、相談者が心の安定を取り戻し前向きに考えていけるよう導くことができるとともに、家庭教育の知識向上に役立ちました。	①継続	II - 9
青少年健全育成推進事業	少年愛護センターは青少年健全育成敦賀市民会議と連携して「地域の子は地域ですこやかに育てよう」をスローガンに各種青少年健全育成行事を実施しました。 ・5月13日親子のフェスティバルを開催し、約4,500人の参加を得ました。 ・7月28日青少年育成敦賀市民大会を開催し、約450人の参加を得ました。 ・「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」作文・図画・ポスターの募集を行い、6,437通の応募があり、優秀作品を表彰しました。 ・小学生4～6年生を対象とした「ひまわり塾」を7月～11月に計3回開催し、延62名の参加を得、郷土の食に関する体験学習と山車会館バックヤード見学による社会学習によって見識を深めました。	各種行事の開催や広報活動により、親子、仲間、地域とのふれあいの場を提供するとともに、市民に明るい環境づくりを訴え、地域住民の積極的な協力により地域の子ども達を守り育てる意識の高揚に寄与しました。	①継続	II - 9

利用団体及び利用者数について

平成30年度に当施設を利用した団体数及び延べ人数は、136団体、8,040人で、前年度に比べ団体数で9団体、延べ人数で1,020人の増加となりました。

増加した要因としては、福井国体選手団の受入などが挙げられます。

当施設は、子供たちが集団生活と周囲の自然に触れあい、様々な体験学習を行うことができる少ない社会教育施設であり、今後も学校やスポーツ少年団、子ども会等と連携を密にし、隣接市町の各種団体の利用も視野に入れた利用者の拡大を目指します。

また、利用が少ない冬期には、団体等に研修や合宿等の場としての利用をPRし、施設の有効利用を図っていきます。

主催事業について

子ども達が施設周辺の自然に親しみ、触れ合い、活動することを目的に、年2回主催事業を計画しました。

7月は「夏のふれあいキャンプフェスタ」を1泊2日で計画し、定員50名のところ、39名の親子で実施する予定でしたが、大雨警報・土砂災害警戒区域のため、中止になりました。2月は「早春のふれあいフェスタ」を開催し、定員50名のところ、32名の参加がありました。

今後は開催時期の見直しを行い、さらに多くの方の協力を得て、魅力ある主催事業となるよう努めていきます。

施設管理及び運営について

利用者が安全にかつ快適に利用できるよう、各種設備や施設の維持管理を専門業者に委託し、安全面や衛生面に気を配りました。

施設については、昭和54年開所以来39年以上経過し、機械設備や建物施設の劣化が目立つことから、計画的に修繕を行っていきます。

○少年自然の家

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
少年自然の家のふれあいフェスタ事業	<p>年2回開催予定であったが、荒天のため夏のキャンプフェスタは中止とした。</p> <p>早春のふれあいフェスタは開催し、参加した子供たちが自然と触れ合える機会を提供した。その活動の中で一人一人の自主性を引き出し、責任を持って行動ができるよう指導を実施した。</p> <p>活動内容は野外が多く天候に左右されやすいことから参加者の安全に十分配慮し、臨機応変に内容を変更し事業に取り組んだ。</p>	<p>参加者については、リピーターも多く人気も高い、かつ、アンケート結果から好評であった。</p> <p>引き続き、参加者の興味を引くような内容を心がけていく。</p> <table border="1" data-bbox="1123 398 1272 591"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 9
有効性	A											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
少年自然の家の管理運営	<p>利用者が安全かつ安心して利用できるよう、各種保守点検・維持管理業務を業者に委託し、修繕箇所の補修に努めた。</p> <p>和・洋便器 33 基のうち 13 基を洋便器(温水洗浄便座)へ取り替えた。</p> <p>エアコンも、管理棟の宿泊室 2 台、研修室 2 台、廊下 1 台、宿泊棟の宿泊室 20 台を取り替えた。</p>	<p>建設して 40 年近く経ち、躯体施設の劣化も見られることから、目視点検等特にパトロールを強化し、危険箇所の早期発見に努め、施設の長寿命化及び安心安全を図った。</p> <p>また、修繕費の嵩むものについては、計画的に実施し、毎年の修繕費の平準化を図った。</p> <table border="1" data-bbox="1123 766 1272 958"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 9
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

文化振興課自己点検・評価報告書（まとめ）

文化振興課では「文化財の保護」と「文化の振興」を大きな二本柱として事業を行っています。

文化財保護事業では、文化財の保存と活用を一体的に捉え、より効率的な保護の実現を目指しています。そのために、文化財を地域の貴重な資産として適切な状態で保存するための措置を講じています。同時に、多くの市民に対して文化財の持つ魅力を発信し、活用を図るため、現在は文化財の修復整備を重点的に進めています。

文化振興事業では、民間の文化団体の活動を支援することで、市民自らが主体的に市民文化を創造する活動の支援を図っています。文化芸術及び科学技術分野で全国大会等に出場した個人及び団体を激励するとともに、全国又は世界大会で優秀な成績を収めた場合には、表彰し、活動を奨励しています。

1 文化財保護事業

平成30年度は新たな文化財指定はありませんでしたが、令和元年度において新たに2件指定するため、文化財保護審議会にて調査及び審議を行った結果、指定が妥当との結論を得ています。（令和元年6月に市指定文化財に2件が指定）

次年度も計画的に必要な調査を実施し、指定又は登録に値する文化財については、積極的に指定・登録を行い、地域の宝である文化財の一層の保存活用を図ります。

（1）埋蔵文化財発掘調査

市内の開発行為に伴う埋蔵文化財確認調査を行い、向出山1号墳出土金属製品8点の化学的な保存処理を施しました。

また、北陸新幹線建設工事に関連する埋蔵文化財保護業務については、福井県教育庁埋蔵文化財調査センターをはじめ関係機関等と協議しながら、事務を進めました。

今後も開発事業に伴う埋蔵文化財保護業務を的確に行うとともに、事業成果を文化財指定や整備に結び付けられるよう努めます。

（2）名勝柴田氏庭園の保存活用

柴田氏庭園保存修理事業は27年度から国庫補助を受け整備に着手しました。30年度は建造物の保存修復工事及び庭園の植栽整備工事を行うとともに、特別見学会を開催するなど、修理期間中の公開にも努めました。今後も、柴田氏庭園保全整備委員会等の指導を受けながら、調査と併行しながら整備事業を進めていきます。

（3）史跡金ヶ崎城跡の保存活用

平成30年3月に策定した「史跡金ヶ崎城跡保存活用計画」の内容を基に、整備基本計画策定に向けた検討委員会を開催しました。

今後も、保存整備の実施に向けて、整備実施計画の策定に向けた委員会開催及び

各種調査について検討していきます。

(4) 名勝「おくのほそ道の風景地 けいの明神」の保存活用

国指定名勝「おくのほそ道の風景地 けいの明神」の保存活用計画策定に向けて学識経験者及び住民代表等からなる策定準備委員会を開催しました。

今後も、保存活用計画策定に向けて委員会開催及び各種調査について検討していきます。

2 文化振興事業

文化活動団体等への財政的支援や、文化芸術事業に対する共催・後援による支援、文化行事の広報・PRを実施し、市民の文化行事への参画を促しました。文化行事参加者数は19,552人となり、目標値の達成にはいたりませんでした。これは、新規事業の減少及び持ち回り開催事業が他市町での開催だった点が要因として考えられます。今後は、共催・後援事業の広報PRを積極的に行い、事業者の広報活動を支援するなど、行事参加者数の増加を図ります。

(1) 文化芸術及び科学技術等活動に対する激励及び表彰

文化芸術及び科学技術部門で全国大会等に出場した21名2団体に出場激励費を交付しました。また、3月には全国大会等で優秀な成績を収めた10名、1団体を表彰しました。

(2) 文化活動団体等の支援(気比史学会、文化協会、水戸烈士遺徳顕彰会等)

文化活動を行う団体等の活動を支援するため、事業者に対し補助を行いました。民間団体の自主的な活動により、市単独で事業を実施する以上に、多様な行事を実施することができました。今後も、広報支援の強化等に努め、文化芸術・歴史文化の振興を図ります。

(3) 奥の細道全国俳句大会の支援

「奥の細道」つるが芭蕉紀行全国俳句大会を主催する敦賀俳句作家協会を支援し、「杖措きの地敦賀」のPRと俳句文化の普及を図りました。

事前投句には632句、当日投句には154句の投句がありました。また市内小学生を対象としたこどもの部では、932句の投句がありました。

今後も「芭蕉杖措きの地」として、俳句が市民に親しまれるように、事業運営の支援に努めます。

文化振興課

【文化振興課の事務分掌】

- (1) 文化関係施設の設置及び管理に関すること。
- (2) 文化財保護審議会に関すること。
- (3) 芸術文化の振興に関すること。
- (4) 文化団体の育成及び指導に関すること。
- (5) 文化財の調査、保存及び活用に関すること。
- (6) 埋蔵文化財の調査及び発掘に関すること。
- (7) 市史編さんに関すること。
- (8) 博物館に関すること。
- (9) 市民文化センターに関すること。
- (10) みなとつるが山車会館に関すること。
- (11) その他文化振興及び文化財に関すること。

【自己点検・評価】

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
文化財保護審議会運営費	文化財の調査、保存、指定等について審議するため、文化財保護審議会を開催しました。 市指定文化財の指定及び所要の維持管理について、専門的見地から指導及び助言を得ました。 ・審議会の開催 3回	審議会では資料そのものの学術的価値等に即して、厳正に審議が行われました。 また、指定等の措置を講じられた文化財を保存するための助言指導も行われました。	①継続	I - 14
文化財発掘調査費	開発に伴う遺跡等の損壊を防ぐため試掘調査及び現地踏査試掘調査を行うとともに、出土品等の記録・保存処理等を行いました。 発掘調査の成果については、文化振興課分室にて展示を行うなど、学校教育及び生涯学習等への活用も行いました。	宅地造成等市内の開発工事については、遺構を損壊することなく、かつ事業主に大きな影響を及ぼすことなく対応ができました。	①継続	II - 11
文化振興課分室の管理運営	文化振興課分室の維持管理を行いました。 市内遺跡等の出土品洗浄・注記・接合・実測・復元等の整理作業のほか、発掘調査に関する展示や市内小学校の校外学習の受け入れ等も行い、発掘調査の成果について、学校教育及び生涯学習等への活用も行いました。 ・校外学習受入 5校 約240名	出土品の整理作業は着実に進められています。また校外学習の受入れや出土品の展示などを通じて、遺物の公開や活用が図られています。	①継続	II - 1 II - 11
柴田氏庭園保存修理事業費	柴田氏庭園保全整備委員会を開催し、委員会及び国（文化庁）の指導を受けながら、柴田氏庭園の保全整備（建物の復元修復工事、庭園の植栽整備等）を行いました。 ・委員会の開催 2回	委員会では学識経験者と地域の代表者がともに検討し、修復整備事業が着実に進捗しました。	①継続	II - 1 II - 11
史跡金ヶ崎城跡整備検討委員会関係経費	平成29年度にとりまとめた保存活用計画の内容を基に、整備基本計画策定に向けた検討委員会を開催しました。 ・委員会の開催 2回	委員会を開催し、今後の整備基本計画策定に必要な課題を抽出し、委員会での共有を図ることができました。	①継続	II - 11

名勝「けいの明神」保存活用計画検討委員会関係経費	国指定名勝「おくのほそ道景勝地 けいの明神（氣比神宮境内）」の保存活用計画策定に向けて、準備委員会を開催しました。 ・委員会の開催 1回	今後の計画策定に必要な課題を抽出し、委員会での共有を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 11
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
文化財保護管理費	市内に所在する文化財を将来にわたって良好に保存・活用するために必要な保護管理（清掃管理・機械警備・植栽管理等）を実施しました。 ・史跡中郷古墳群、史跡玄蕃尾城跡、史跡武田耕雲斎等墓、名勝柴田氏庭園、史跡疋壇城跡、旧敦賀港駅ランプ小屋、史跡武田耕雲斎本陣跡（旧新保陣屋）、史跡駐輦の碑、第19連隊記念碑、木ノ芽古道、深坂古道、等	適切な保護管理を実施することで、文化財の保全を図るとともに、それら文化財の公開を行うことで市民の文化財保護意識の向上を図ることが出来ました。 また、一部文化財について地元住民による管理が実施されており、住民による文化財保護の推進が図られています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 1 II - 11
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
文化財保存管理補助金	・国指定重要無形民俗文化財の「敦賀西町の綱引き（夷子大黒の綱引）」の実施と事業伝承のために発足した、敦賀西町の綱引き伝承協議会に対し支援しました。 ・無形民俗文化財の保存継承と後継者の育成を図るため、実施7団体（7行事）に対し支援しました。 ・私立敦賀郷土博物館に所蔵されている指定文化財等の管理保存のため、同施設に補助しました。 ・敦賀まつりの山車保存のための修理を行う「つるがの山車保存会」に対し補助しました。	継承に苦勞している地域もあるが、全体としては多くの行事が継承されており、文化財の保護と次世代への継承に繋がっています。 また、地元の努力と行政による支援によって認知度が向上しており、そのことが担い手の意識を向上させ、文化の継承に繋がっています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 11
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
文化財広報普及事業費	文化財保護活動への意識向上及び広報普及のための事業を実施しました。 ・愛発の里パンフレット作成	文化財の魅力を広く広報することで、文化財の認知度が向上し、市民の文化財保護に関する意識醸成を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 11
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
文化芸術企画支援事業費補助金	舞台芸術文化の振興と向上のため、演劇や音楽、伝統芸能などの文化芸術事業を自主的に企画・実施する団体を公募し、支援しました。 ・敦賀市民吹奏楽団 （ウインドアンサンブル奏スペシャルコンサート） ・敦賀市民ミュージカル実行委員会 （敦賀市民ミュージカル「すべての山々を越えて」） ・敦賀国際文化交流フェスティバル実行委員会 （敦賀国際文化交流フェスティバル2018） ・敦賀音楽祭かもめ製作実行委員会 （敦賀音楽祭カモメ）	舞台芸術を中心に文化芸術事業を自主的に企画・実施する団体の活動支援をすることで、市民が主体となる高度な舞台芸術文化の振興と向上を図ることができました。また市民の鑑賞機会の充実につながることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 16
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

文化振興事業費	<p>芸術文化の振興を図るため、各種文化事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催、後援による支援（51事業） ・市民ギャラリーの開催（毎月展示替え） ・文化芸術活動激励費の贈呈（21名、2団体） ・文化芸術及び科学技術活動優秀表彰（10名、1団体 3/15実施） 	<p>市民ギャラリーでの作品展示によって文化活動の支援及び市民の文化意識向上につながりました。文化芸術・科学技術分野で活躍する市民を激励・表彰することで活動に対するモチベーションを高め、人材の育成及び本市の文化及び科学水準の向上を図ることができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	①継続	II - 16
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	A												
文化団体等補助金	<p>本市の歴史文化、芸術の振興を図るため、公益的な活動を行っている団体に対し支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気比史学会 主催事業 市民歴史講座の開催 (4講座 受講者延 429名) 等 ・敦賀市文化協会 主催事業（教育委員会共催・後援事業） 敦賀市総合美術展 市民文化祭 敦賀市書道展 等 (11事業 参加者等延 10,681名) ・敦賀水戸烈士遺徳顕彰会 史跡武田耕雲斎等墓周辺の保安全管理 水戸烈士遺徳顕彰事業の開催 水戸天狗党に関する普及啓発活動 水戸烈士記念館（練倉）の管理 姉妹都市水戸市との親善交流 等 	<p>気比史学会は歴史に立脚した市民文化を構築するため、テーマを工夫して定め、幅広い市民が郷土史への関心を持てるよう努めており、本市の歴史文化の振興に大きく寄与しています。</p> <p>文化協会は多くの文化芸術事業を主催しており、本市の文化振興の推進に対する寄与度は非常に高く、今後も文化芸術の振興と次世代への文化の継承に向けて、継続的な連携を図っていくことが重要です。</p> <p>水戸烈士遺徳顕彰会は史跡環境の保全活動、普及啓発活動により、史跡の環境保全、郷土の歴史文化の普及に寄与しています。また、親善交流活動や遺徳顕彰活動により姉妹都市水戸市をはじめとする関係自治体との交流促進にも寄与しています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
つるが芭蕉紀行開催事業	<p>「杖措きの地 敦賀」を広く内外にPRし、俳句を通じた文化振興を図るため、「奥の細道」つるが芭蕉紀行全国俳句大会を主催する敦賀俳句作家協会に対し支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成30年10月21日 ・投句数 事前投句 632句（171名） 当日投句 154句（77名） こどもの部 932句（919名） 	<p>こどもの部について、市内各小学校を通じて俳句作品が寄せられたほか、児童クラブにおいて俳句教室を実施しました。俳句愛好者のみならず、子どもからも多くの応募があり、俳句文化の振興と、次世代への継承が図られました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II - 16
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
歴史遺産広報普及事業費	<p>敦賀城主として、町並みの整備などを行い、港町敦賀の発展の基礎を築いた大谷吉継について理解を深め、郷土の歴史遺産に関し市民や観光客に対して広報普及を図るため、大谷吉継に関するシンポジウムを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成30年12月8日 講演会及びパネルディスカッション 講師 加来耕三 	<p>市民や観光客に対し、郷土の武将である大谷吉継についての関心を広げることができ、本市の歴史文化の振興に大きく寄与しました</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了	II - 16
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

市民文化センター自己点検・評価報告書（まとめ）

年間利用者について

利用総件数は389件で27,865人の利用者がありました。前年度比では、129件の減、3,310人の減でした。

利用者減の主な要因は、施設改修工事に伴う休館（12月から2月）によるものです。

施設の改修について

施設の老朽化による設備の故障や不具合に対応するため施設改修工事及び設備修繕を行いました。これにより利用者にとって安全で安心できる快適な施設の整備に務めることができ、また施設の長寿命化につなげることができました。

指定管理者制度の導入について

令和元年度から、市民文化センターは、指定管理者制度を導入することにより民間事業者のノウハウを活用し、より効率的かつ効果的な施設運営を行い、市民サービス及び利用率の向上を目指します。また、市民が芸術文化に触れる機会を拡充し、市民文化の振興につなげていきます。

○市民文化センター

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
市民文化センター管理運営費	<p>施設の利用状況は、利用総件数 389 件、27,865 人の利用者がありました。前年度比では、利用件数で 129 件の減、利用人数では 3,310 人の減となりました。</p> <p>管理運営では、電気設備、舞台関係設備、建築設備等の修繕及び清掃業務、冷暖房保守点検等の施設維持管理の委託業務を実施しました。</p>	<p>利用件数及び利用者数の減少については、施設改修工事に伴う休館（12 月～2 月）によるものです。管理運営面においては、適正な管理により、利用者に快適な施設環境を提供できました。</p> <table border="1" data-bbox="1109 403 1252 604"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	⑤転換	Ⅱ - 1
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
市民文化センター改修事業費	<p>経年劣化の著しい箇所の施設改修工事及び設備修繕を行いました。</p> <p>改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台吊物装置改修工事 ・ 外壁改修等工事 ・ 直流電源・蓄電池等設備改修工事 外 2 件 <p>設備修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大ホール音響設備修繕 ・ 地下灯油タンク内部ライニング処理修繕 ・ ハロン消火設備修繕 外 7 件 	<p>施設の老朽化による、設備の故障や不具合に対応することができました。利用者にとって安全で安心できる快適な施設の整備に努めることができ、また施設の長寿命化に繋げることができました。</p> <table border="1" data-bbox="1109 750 1252 952"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	⑤転換	Ⅱ - 1
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
指定管理者候補者選定委員会運営費	<p>市民文化センターの指定管理者候補者を選定するための委員会を開催し、指定管理者を決定しました。</p> <p>応募団体数：3 団体 指定団体：株式会社ケイミックスパブリックビジネス 指定期間：H31.4.1～R5.3.31</p>	<p>市民文化センターの指定管理者を決定し、市の直営から指定管理者への移行を行いました。このことにより、民間事業者のノウハウを活用し、これまで以上に市民サービスの向上、施設の稼働率向上、市民が芸術文化に触れる機会の増加を図ります。</p> <table border="1" data-bbox="1109 1108 1252 1310"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了	Ⅱ - 16
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

博物館 自己点検・評価報告書（まとめ）

平成30年度は、県が主催する幕末明治福井150年博の関連事業として、特別展「水戸天狗党敦賀に散る」を開催しました。幕末、尊王攘夷を訴え水戸から敦賀までやってきた天狗党の人々は、ここ敦賀で捕らえられ350余名が処刑されました。この展示では、幕末期の敦賀を語る上で欠かすことのできない水戸天狗党の事件を改めて掘り下げ、研究成果を発表する貴重な機会となりました。当館所蔵資料はもちろん、初公開資料を含め各地に残る貴重な天狗党関連資料を紹介しました。天狗党の事跡を辿ることができる展覧会として、大変好評をいただきました。会期中の入館者数はほぼ横ばいの1,715名（前年度1,723名）でしたが、記念講演会では定員を大幅に超える参加者がありました（1回目135名、2回目86名）。市民からも、天狗党のことについて知ることができる良い機会となったというお声もいただき、今後の博物館の功績として残る成果が得られました。

調査研究事業では、新たに敦賀の山車総合調査を3年計画で進めています。また、例年どおり敦賀の歴史や文化財についての調査を蓄積し、その成果として研究紀要を発刊したり、展示を行ったりして発表しました。

また、館蔵資料アーカイブ化を行い、博物館収蔵品データアーカイブをウェブ上に開設しました。日本画コレクションをはじめ、歴史資料や民俗資料等、当館の収蔵品の一部（687件）を一般に公開し、多くの人目に触れることができました。

入館者数は、10,279人と、昨年度の10,480人から201人の減となりました。

今後は、ダイヤモンド・プリンセス寄港をはじめとするインバウンド対応を強化し、今後の北陸新幹線の利用者の取り込みに向けて、広報を強化していく必要があります。

○博物館

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
博物館協議会委員の活動	協議会を3回開催し、博物館の諸活動に対し、市民や有識者の立場からの意見を聞くことができました。	博物館の運営・活動に対して、前向きな評価やご意見をいただいている。	①継続	Ⅱ - 1
		有効性 A		
		効果性 A		
		効率性 (コスト) B		
		効率性 (人員) B		
調査研究	敦賀の山車の総合調査、館蔵資料や問い合わせ対応にかかる調査、市内民俗行事などの調査等を実施するとともに研究紀要の発刊を行いました。	山車の総合調査を3年計画で進めています。今後の質の高い博物館活動のためにも、資料の調査・整理・データ化の継続は必要です。	③拡大	Ⅱ - 11
		有効性 A		
		効果性 A		
		効率性 (コスト) A		
		効率性 (人員) B		
館蔵資料の収集	歴史資料1点を購入しました。 購入資料 版本『千嶋講宿帳』一冊 410,400円 本資料は敦賀の歴史上、重要な資料であり、松前交易に関する詳細な案内書であるだけでなく、交通資料としても利用価値が高いものです。	博物館として貴重な資料を購入することが出来ました。	③拡大	Ⅱ - 11
		有効性 A		
		効果性 A		
		効率性 (コスト) B		
		効率性 (人員) B		
展示会の開催	テーマ展、歴史講座、史跡見学会等を実施しました。 入館者 10,279人 館外行事等参加者 556人 総利用者数 10,835人 前年比 入館者数 201人減、 総利用者数 2,010人減	郷土の歴史を紹介する上で重要なテーマ・コンテンツでも、単純に入館者増にはつながりにくい内容もある。見せ方や話題作り、広報等工夫が必要です。	③拡大	Ⅱ - 16
		有効性 A		
		効果性 B		
		効率性 (コスト) A		
		効率性 (人員) B		
歴史遺産魅力創出事業	幕末明治福井150年博記念事業・特別展「水戸天狗党敦賀に散る」を開催しました。 ・解説パネル、複製等の作成 特別展会期中 入館者 1,715人	特別展を開催して評価を受けました。博物館の今後の展示活動に有用な複製やパネルなどが充実し、また広報にもつなげることが出来ました。	②完了	Ⅱ - 16
		有効性 A		
		効果性 A		
		効率性 (コスト) A		
		効率性 (人員) B		
博物館管理運営	清掃、空調、消防、エレベータ機器点検等業務委託にて実施しました。新たに館蔵資料データベースをウェブ上に開設しました。	館内の安全・衛生は保たれており、文化財建物により配慮した施設管理を目指します。	①継続	Ⅱ - 1
		有効性 B		
		効果性 B		
		効率性 (コスト) B		
		効率性 (人員) B		
館蔵資料デジタルアーカイブ	これまでに引き続き古文書等資料撮影を進め、アーカイブの充実を図りました。 取り込みデータ(カット)数 600カット	データ化する資料の幅を広げることができた。新規にシステムを導入することが出来ました。	①継続	Ⅱ - 16
		有効性 A		
		効果性 A		
		効率性 (コスト) B		
		効率性 (人員) B		

みなとつるが山車会館 自己点検・評価報告書（まとめ）

郷土の誇る文化遺産である山車の保存を図るとともに、施設維持に係る業務委託、修繕等を継続的かつ確実に遂行しました。

平成30年度は、開館から21年が経過し経年劣化の著しい外壁タイルの損傷部位について、前年度に実施した外壁赤外線調査結果を基に、落下防止の改修工事を行いました。工事着工後に、外壁の状態が調査結果より劣悪である事が判明したため、工費及び工期が拡大しましたが、補正、工法変更等により工事を完遂し、安全性を回復しました。

また、今後文化財としての有効活用を検討している別館について、劣化により落下の恐れがあった庇を修復可能な方法で撤去及び養生し、当面の安全性を確保しました。

このほか、山車の保存管理を滞りなく行うため、使用に支障が出ていた山車格納庫のシャッターを修繕しました。

入館者数の維持・増加への取り組みとしては、1階ロビーにフリースペースを設置し、市民等が気軽に利用しやすい環境を整備したほか、バックヤードツアー、ソーシャルメディア等による情報発信を継続しました。しかしながら、PR不足もあり、効果を得られるまでには至らず、入館者数は7,772人で、昨年度8,053人から281人減となりました。

成果としては、改修工事によって施設の安全性と快適性が回復しましたが、今年度は、施設の健全化を図る事業を多く実施したことにより、工事等の影響で来館者の快適性が損なわれたほか、台風による山車巡行の中止等、悪天候の影響もあり、昨年度に比較して入館者数は微減しました。

今後は、会館の在り方の見直し、北陸新幹線の利用者やインバウンド客の取り込み、日本遺産（北前船）を利用した広域観光に応えられる環境整備、情報発信の強化等、より具体化した取り組みを進めていく必要があります。

また、昨年度の評価を受け、文化施設としての今後の数値目標に掲げることを念頭に、来館者アンケートから満足度を算出したところ、過去3年の平均が満足度98.6%となりました。高い数値ではありますが、回答の絶対数が少ないため、データの正確性を期すため、アンケートの実施方法や項目等を精査し改良を行います。

〇みなとつるが山車会館

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
管理運営	<p>施設環境の維持・向上のために必要な業務を行いました。</p> <p>清掃、警備、各種機器点検等を業務委託により継続的に実施したほか、経年劣化により使用に支障が出ていた山車格納庫のシャッター修繕、使用期限の迫った機器の部品交換等を行い、施設の安全性と快適性の確保に努めました。</p> <p>1階ロビーにフリースペースを設けたほか、バックヤードツアー開催、ソーシャルメディア等を活用した情報発信を継続して集客に努めましたが、入館者数は減少しました。(入館者数 7,772人 前年比 96.5%)</p>	<p>当初の予定どおり施設管理、機器改修等を実施し、点検等により判明した不良箇所については順次修繕を行ったことで、施設の安全性、快適性が保たれ、山車の保存管理も滞りなく行われました。</p> <p>外壁改修工事に伴う騒音、足場設置等より来館者に不便を強いた期間があったほか、台風による山車巡行中止等、悪天候の影響、PR不足等により、昨年度に比較して入館者数は微減しました。 (-3.5%)</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 11
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
改修事業	<p>経年劣化により落下の危険性のあった外壁の改修工事等を行い、施設の健全化を図りました。外壁の状態が前年の赤外線調査結果より劣悪である事が判明したため、工費及び工期が拡大しましたが、補正予算にて実施しました。</p> <p>工費 当初 18,360,000円 変更後 26,221,320円 増額 7,861,320円</p> <p>工期 当初 5月16日～8月20日 実施期間 5月16日～9月11日</p> <p>また、外壁工事に併せて会館出入口上部の壁面に館名文字を設置しました。</p>	<p>当初予算より外壁改修の工費及び工期が拡大しましたが、補正、工法変更等により対応し、工事を完遂して安全性を回復しました。</p> <p>館名設置により、利用者より指摘を受けていた不満要素を解消し、利便性が向上しました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了	Ⅱ - 1
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

スポーツ振興について

市民一人ひとりが、身体的、精神的、環境的に多様化する日常の中で、いかに明るく豊かで活力のある生活を送ることができるかを念頭に置き、各種スポーツ関連団体の育成・指導に力を注いで参りました。

スポーツは、競い合うこともさることながら、生涯に亘って自らの健康状態を自覚するとともに、健康の増進に努めなければならないことを自省する上でもとても意義のある方法であり、地域再生や医療費削減の手法として、非常に重いウエイトを担う位置づけとなっております。

元気な高齢者と反して、バーチャル環境に身をおき、体力低下や生活環境の悪化に苦しむ子ども達には様々な機会の提供が必要不可欠であり、その先駆けの取り組みができたと考えております。

平成30年度の各スポーツの振興に関する事業の参加者数は7,772人（前年度9,958人）でした。昨年度と比較して大幅な減少となりましたが、これには福井しあわせ元気国体・大会の開催に伴う県民スポーツ祭及び市民スポーツ祭の中止などが大きく影響していると考えられます。また、29年度に引き続き、福井しあわせ元気国体・大会の開催に伴い敦賀マラソン大会を中止したこともあり、第6次総合計画では平成28年度の目標年次に掲げた17,450人という目標値を下回る現状ではございますが、昨年度開催された福井元気国体・大会を契機とし、さらなる競技力向上やスポーツ人口の拡大等について、今後、鋭意努力を行ってまいります。

また30年度開催の福井しあわせ元気国体に向け、大会時に代表になりうる中学生以上を対象に選手等育成事業を実施し、10競技の強化を図りました。福井しあわせ元気国体・大会では、福井県選手団が天皇杯・皇后杯を獲得するという素晴らしい成績を収めることが出来ました。本市選手団においても各競技で好成績を収めることが出来ましたが、こうした取り組みの積み重ねが、その要因のひとつになったのではないかと考えております。

これらのスポーツ振興事業と平行しながら、スポーツを学び、スポーツで学ぶことのできる環境の整備を進めるとともに、市民総スポーツ実現のため、普及・振興を図り、人を育み、文化を創る都市づくりを目指します。

スポーツ施設について（運動公園を除く）

市内には15の体育施設があり、平成30年度の総利用人数は164,843人（前年度160,029人）でした。前年度と比較すると4,814人増加となりましたが、第6次総合計画では平成28年度の目標年次に200,000人という目標値をかかげており、目標達成に向けた鋭意努力を行っているところではあります。目標値からは約3万5千人下回るという結果となりました。

減少した理由としては、福井しあわせ元気国体大会の開催に伴い、施設の利用を制限したことや、台風の相次ぐ接近による被害を受け、施設の復旧のため利用を中止した施設があったことなどが大きく影響したことが考えられ、今後は、今年の福井しあ

わせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催を契機とし、利用者が安心してより良い環境でスポーツに取り組むことが出来るよう、施設の維持管理等を行い、今後のスポーツ振興及び利用者の拡大等に繋げていく必要があると考えております。

現在、ほとんどの施設で受付や清掃等を委託しており、目標到達に向け、今後は更に利用者に対する接遇の向上や安全で安心して利用できるスポーツ施設を心がけて参ります。

指定管理者制度導入につきましては、平成18年度に「きらめきスタジアム」で導入し、平成28年度から新たに5年間の指定管理者として引き続き敦賀市ソフトボール協会が選定されています。また、平成20年度からは「武道館」も指定管理者制度を導入していますが、平成25年度から5年間の指定管理者として引き続き敦賀市シルバー人材センターが選定されております。両指定管理者ともに、受付から許可書の発行などスピーディな事務の実施を行うなど、市民サービスの向上と人件費等の経費削減を図りました。

施設の主な修繕関係では、各施設の老朽化が著しい箇所や設備について適宜修繕を行い、施設の整備促進及び維持管理に努めました。また、前述のとおり、昨年の台風20号及び21号の暴風により東浦体育館、愛発プール、きらめきスタジアムが被害を受け、復旧工事等のため一部施設を閉鎖する期間がございましたが、迅速な修繕を一日も早い供用再開に向けて取り組みました。

しかし、これらのスポーツ施設を含め、効果的な施設の運営を実施するためには、一般利用者のもとより体育協会、学校関係者や地域の各種団体との連絡調整が重要となっています。

総合運動公園について

市民の憩いの場として親しまれている総合運動公園は、市民だけでなく県内外から年間183,415人（前年度189,792人）の利用者がありましたが、第6次総合計画では平成28年度の目標年次に240,000人という目標値をかかげており、約5万6千人下回り、目標を達成することができませんでした。体育館や陸上競技場等が、福井しあわせ元気国体・大会の開催会場となったことに伴い、大会開催中をはじめ大会の準備から撤去期間の間、施設が利用できなかったことが主な原因と考えます。今後は更に自然の美しさ、豊かさを提供し、快適で、安全、安心な施設として利用できるように努力して参ります。

30年度については、例年と同様に施設の老朽化により修繕等が頻発し、当初予算を上回る経費が必要となりました。主な修繕・工事としては、高圧ケーブル取替修繕、体育館電動バトン修繕、修景池太鼓橋及び浮見堂修繕、体育館排煙オペレーター修繕、ゲートボール場屋内トイレ洋式化修繕、ちびっ子広場大型遊具等修繕等等を実施しました。毎年のように各施設の経年劣化による老朽化が進み、修繕が増える傾向にありますが、予算の削減に伴い、例年、職員による作業等で対応する機会が増えております。また、プールにおいても、トレーニングルームの音響設備修繕、プール非常放送設備パワーアンプ修繕、プール真空ヒータ部取替修繕、プール消防設備不良箇所取替修繕等、劣化により設備の故障、修繕が続いています。

さらに、福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会開催に伴い、大会の運営等が円滑に行われるよう、各施設や備品等の整備も行いました。

このような状況を踏まえ、今後も、運動公園施設の老朽化に伴う改築コストの平準化など計画的な整備計画を行うため、運動公園の長寿命化計画を基に、運動の拠点として、地域住民が生涯にわたり各種のスポーツ活動を主体的、継続的に実施できるようより一層の施設環境の整備、充実を図り、安全、安心な施設づくりを目指します。

ス ポ ー ツ 振 興 課

【スポーツ振興課の事務分掌】

- (1) スポーツ振興審議会に関すること。
- (2) スポーツ推進委員に関すること。
- (3) スポーツ施設の設置・管理・貸与及び廃止に関すること。
- (4) 社会体育並びにレクリエーションに関すること。
- (5) 市民の体位の向上・スポーツの推進に関すること。
- (6) 体育団体の指導育成に関すること。
- (7) 福井国体の選手強化・育成に関すること。
- (8) 総合運動公園の管理運営に関すること。
- (9) 武道館の管理運営に関すること。
- (10) その他社会体育に関すること。

【自己点検・評価】

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
スポーツ振興審議会の活動	スポーツ基本法第31条の規定に基づき、敦賀市スポーツ振興審議会を設置、施設の整備や事業、競技力向上など、スポーツの振興に関する事項について調査審議し、スポーツ振興に寄与しました。 年2回開催 延べ12名出席	スポーツの振興に関する重要事項等について、中立公正な立場から調査、審議及びその決定を行っています。	①継続	Ⅱ - 10
総合型地域スポーツ活動推進事業	本市で唯一設立されている敦賀北スポーツクラブを支援し、活動の充実を図るとともに、テニス、軟式野球等競技協会と調整を図り教室等を開催しました。 ・一般・中高年向けスポーツ教室の開催・イベントの開催（計5種目、18教室） ・ニュースポーツ普及のための各種教室・行事の開催 ・総合型地域スポーツクラブ等（3団体）の育成・支援	スポーツ教室には募集定員を超えるものもあり、市民の健康への意識の高さが窺われます。また、北スポーツクラブは積極的に市の事業に協力・参加いただいております。	①継続	Ⅱ - 10
スポーツ推進委員の活動	地域でのスポーツ活動やニュースポーツの普及・振興をはじめ、スポーツ教室の指導、各種大会の運営補助等を行いました。また、指導者を対象とした実技等の研修会に参加し、指導面と技術向上に努めました。 ・ニュースポーツ教室（ショートテニス、スティックリング）における実技指導と普及振興 ・出前講座、体験教室等の指導者派遣（ディスクガッター、キボール、加ーリング外） ・ニュースポーツ体験王国（平成30年7月8日開催） ・市主催大会への運営補助 野坂山市民登山、市民スティックリング大会 ・全国研修会（鹿児島県鹿児島市）、北陸研修会（石川県白山市）、県研修会外への参加	指導者のスキルアップを目的とした実技研修の実施と他市町との情報交換、技術交流を図るため各種大会に参加しました。また、ニュースポーツ普及のための出前講座や教室に講師を派遣することができました。	①継続	Ⅱ - 10

スポーツ振興補助金	<p>市民の健康推進を根底に市民登山を実施しております。また、各種大会の補助を通じてスポーツ振興を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月29日 野坂山市民登山：350名 ・6月10日 第68回福井県高等学校定時制通信制総合体育大会(4年周期) ・7月28・29日 第26回気比の松原招待サッカー大会 47チーム594名 ・3月28日 第49回福井レガッタ～8月9日 125クルー157名(計10日間) 	<p>夏休み、海水浴シーズンに開催されることでスポーツによる交流だけでなく、観光や宿泊などへの経済効果も図られました。また、野坂山登山道の補修について、野坂山振興会、山の会等の協力によりシーズン中の登山者の安全が確保されました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	A	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	A												
国民体育大会選手等育成事業	<p>平成30年の国体に参加可能な全年齢を対象に選手強化対策事業を行いました。調査により実施希望のあった10競技団体が強化選手を選定し、各競技団体主管で行う選手育成事業に対し支援を行いました。(陸上競技、水泳、ソフトテニス、卓球、剣道、サッカー、テニス、空手道、ボウリング、ゴルフ)</p>	<p>国体開催年となり、強化指定選手を絞り込んだ強化対策を実施することができました。また、各競技団体における国体に向けた強化対策の機運を高めることができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②完了	II - 10
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
野球フェスティバルの開催	<p>市長旗高校野球大会と小・中学生軟式野球大会を同時に野球フェスティバルとして開催し、小中高一貫指導体制を確立しました。</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺南地区の高校 5チーム ・二州地区の中学校 7チーム ・二州地区の学童野球 11チーム 	<p>野球フェスティバルは小・中・高校生が一堂に会する大会であり、全国的に稀有で貴重なイベントであります。連盟、各チームの協力によりスムーズな運営ができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
スポーツレベルアップ事業	<p>本市スポーツのレベルアップを図るため、ジュニア層の強化を図るとともに、指導者を育成し、競技力の底上げを行いました。また、全国大会出場選手等の激励顕彰を行い、選手の向上心を高め、競技スポーツの技術向上に繋げました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場激励数 40団体 個人124名 ・優秀選手市長表彰事業 2団体 個人17名 ・スポーツリーダーセミナー 延べ34名 ・コンディショニングセミナー延べ249名 ・強化指定種目補助事業 7団体 	<p>優秀指導者等によるセミナーの開催により指導者の資質向上、選手の競技力向上が図られおり、併せて強化指定種目補助を行うことにより、指定クラブ等が全国大会レベルで活躍しています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
スポーツ振興の支援(スポーツ少年団)	<p>スポーツを通じて心と身体を鍛え、たくましい活力に満ちた生活を営み、互いに協調、協力しあえる青少年の育成を目的に各団が特色ある活動を行っています。また団員同士の交流活動を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40団、1,135人が団員として登録 ・12月から1月にかけて単位団ごとに体カテストを実施 35団801名が参加 	<p>全国的に、少子化による個々の団における団員数の偏りが顕著となっています。今後、未加入の子供にスポーツへの関心をたかめ、体を動かす楽しさを浸透させるためPRを行う必要があります。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

スポーツ振興の支援 (体育協会)	心身共に健康で実践力に満ちた市民育成を念願し、活動の充実と、より一層関心を深めるため、競技力の向上と市民総スポーツを目指して活動する市体育協会に対し支援を行いました。(競技力向上に関する事業5項目、社会体育振興に関する事業5項目) 市民スポーツ祭や加盟団体による各競技大会の運営等においてもスムーズに進めることができました。また、ジュニア層の育成等に積極的に取り組むなど加盟団体独自での活動も活発に行われています。	各競技協会においては、従来の活動に加えジュニア層の育成など活発になってきています。しかし、活発になればなるほど活動場所の確保が困難となっており、屋内外問わず調整が必要と考えられます。地区体協においては、スポーツを通じて世代間交流・健康増進等に大きな役割を果たしています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
国内スポーツ交流事業	友好都市である各務原市及び姉妹都市である水戸市の市民と敦賀市民が、スポーツを通じて友好を深めるとともに競技力の向上を図りました。 ・学童軟式野球(各務原市) ・剣道(水戸市)	友好都市である各務原市、姉妹都市である水戸市との交流を図るとともに、質の高い試合ができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
全国高等学校野球選手権大会出場激励費	甲子園に出場する市内の高校に対し激励費の贈呈を行いました。 ・第100回全国高等学校野球選手権大会 ・平成30年8月5日から17日間 ・1回戦 木更津総合(千葉)1-10	初戦敗退ではありましたが、最期まで全力を尽くしたプレーは敦賀の全市民に活力と感動をあたえ、敦賀気比高校の名前とともに敦賀市の名を全国にアピールし、今後の本市勢の活躍を期待できる。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②完了	II - 10
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
各種北信越大会の開催支援	敦賀市において開催される北信越高等学校体育大会開催にかかる経費を支援し、レベルの高い大会を開催することで敦賀市における選手の競技力向上に繋がります。 登山 第30回北信越高等学校登山大会 福井大会 平成30年6月15日~17日 水泳 平成30年度北信越高等学校体育大会 競泳 平成30年7月20日~22日	市内の高校生も選手として参加し、競技力の向上が図られました。また、市協会・市内高校が大会運営に参画しスムーズな大会運営を行うことができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
学校体育施設開放事業	3校(小学校1校、中学校2校)のグラウンドを夜間開放。4月から10月までナイター利用として一般開放しました。定期的に日程調整の抽選会を行い、スムーズにナイター利用ができるよう努めました。 ○利用者数2,186人(前年度 3,076人) ※前年度増減比71.07%	スムーズな運営・利用が図られておりましたが、利用者の使用予定日に台風など天候不順が重なってしまい、使用できなかった日が多くあり、昨年と比べ利用者は減少しました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

体育館管理運営	<p>大きな大会などに利用できるよう施設利用の日程調整など管理運営を行うとともに、住宅地の中にあり個人利用も多いため、益々の利用促進に努めました。</p> <p>○利用者数 36,276 人(前年度 31,800 人) ※前年度増減比 114.08%</p>	<p>体育館としては管理している施設の中で一番古い施設ですが、運動公園体育館に次いで広い施設であり、唯一フットサルやインドアテニスなど冬季間の利用が出来る施設でもあり、利用しやすい施設として管理運営に努めました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
野球場管理運営	<p>施設の再開場に向けた整備・修繕を実施し、場外飛球防止のため試合やバッティング練習を禁止する等、利用方法を制限したうえで、平成 29 年 7 月 28 日より施設を再開場しました。再開場後も効率的な運営や安全確保に努め、施設の維持管理を行いました。</p> <p>○利用者 3,946 人(前年度 940 人) ※前年度増減比 419.79%</p>	<p>施設修繕や関係団体等との調整を行い、平成 29 年 7 月 28 日に再開場することが出来ました。ただし、施設全体の老朽化が顕著であり、今後の活用策に検討を進め、方針を導き出す必要があります。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
花城テニスコート管理運営	<p>手軽なスポーツとして利用していたために安い料金設定にしており、また継続的に利用される方には年間利用券などを発行し利用促進を図りました。</p> <p>○利用者数 14,241 人(前年度 13,952 人) ※前年度増減比 102.07%</p>	<p>当テニスコートは主に個人利用、運動公園テニスコートは主に団体利用と、両施設の特徴を生かした効率的利用を推進していきます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
プール管理運営	<p>花城、愛発の 2 プールを 7 月 21 日(土)から 8 月 12 日(日)まで一般開放し、事故なく運営できました。事業の存続について内容を検討し、プール管理・安全性の確保に努めながら、管理体制の強化を推進しました。</p> <p>○利用者数 712 人(前年度 757 人) ※前年度増減比 94.06%</p>	<p>安全管理については、事故なく、また施設の大きなトラブルもなく運営できました。平成 28 年度に桜ヶ谷プールを教育政策課(粟野小学校)へ所管換えを行い、運営方法の見直しを図ったことにより、大幅な経費削減に繋がりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	B												
東浦体育館管理運営	<p>東浦体育協会による各種スポーツの練習場とした利用の他に、市内の企業・クラブからも利用があり、スポーツを通して健康増進のための施設運営を図りました。</p> <p>○利用者数(グラウンド含む) 2,953 人(前年度 4,560 人) ※前年度増減比 64.76%</p> <p>8 月 24 日～9 月 30 日まで利用休止(台風被害復旧作業実施のため)</p>	<p>当体育館は規模が小さく、立地的にも市街地から遠方であり、主に練習会場として使用されている状況です。平成 28 年度において、地元住民(東浦体育協会)の協力のもと管理運営方法を見直したことで、経費の削減に繋がりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	B												
粟野スポーツセンター管理運営	<p>スポーツ従事者の利用率が高い施設であり、効率的な利用促進と利用者の理解の中でスポーツの振興と推進を行いました。</p> <p>○利用者数(グラウンド含む) 34,845 人(前年度 32,783 人) ※前年度増減比 106.29%</p>	<p>体育館のほかに、ナイターのできるグラウンドもあり、市民が利用しやすい環境となっております。今後も、効率的な運用・利用推進に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

金山体育館管理運営	<p>体育館としては小さいため、市民対象の大会等は出来ないことから、主に地区の体育行事や日常的な利用推進を行いました。</p> <p>○利用者数 5,855 人（前年度 5,631 人） ※前年度増減比 103.98%</p>	<p>当体育館は規模が小さく、駐車場が少ないことなどから各種大会としての利用はされておらず、主に練習会場としての使用されている状況で、日常的な利用推進に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
中郷体育館管理運営	<p>運動公園体育館に次いで利用者数が多い施設であり、効率的な利用促進と利用者の理解の中でスポーツの振興と推進を行いました。</p> <p>○利用者数（グラウンド含む）39,186 人（前年度 40,116 人） ※前年度増減比 97.68%</p>	<p>市内のほぼ中心に立地し、グラウンドと大きな駐車場を兼ね備えており、また高速道路インターチェンジが近くにあり、県大会レベルの大会が開催されることが多く、利用推進に繋がっています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
きらめきスタジアムの指定管理	<p>敦賀市ソフトボール協会が指定管理者として施設の管理運営業務を行い、ソフトボール競技の楽しさや競技力向上を図るため、指導者や審判員の講習会、ミニソフトボール教室の自主事業を開催するとともに、申し込みから許可書発行まで迅速に対応して利用者サービスを行いました。</p> <p>○利用者数 7,409 人（前年度 8,537 人） ※前年度増減比 86.79%</p>	<p>指定管理者として適正に管理運営を行っています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
野球場駐車場整備事業	<p>松原児童クラブの建設に伴い、従来の市営野球場駐車場が減少するため、その代替地として隣接する国有財産を取得しました。</p> <p>○該当国有財産 所在地：敦賀市松島 130 号 1 番 109 面積：355.27 m²</p>	<p>市営野球場に隣接する国有財産を駐車場として整備し、利用者の利便性確保に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了	Ⅱ - 1
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
体育施設災害復旧事業	<p>平成 30 年 8 月及び 9 月に接近した台風の影響により被害を受けた体育施設について、修繕等を行いました。</p> <p>○対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛発プール（管理棟屋根） ・東浦体育館（屋根棟、玄関ポーチ天井、体育館窓ガラス） ・きらめきスタジアム（植栽伐根及び伐採、外周フェンス） 	<p>被災施設の復旧作業を実施し、迅速な供用再開及び安全の確保に努めました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了	Ⅱ - 1
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
武道館運営事業費	<p>敦賀市シルバー人材センターが指定管理者（20 年度から）として、施設管理及び施設利用の申込みから許可書発行まで迅速に対応し、利用者サービスを行っています。また自主事業として体操教室、ヨガ教室を開催し、利用者数の拡大に努めました。</p> <p>○利用者数 14,476 人（前年度 15,718 人） ※前年度増減比 92.10%</p>	<p>指定管理者として適正に管理運営を行っており、また自主事業を実施し、利用者数の拡大に努めています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

○総合運動公園

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類				
<p>運動公園 体育館改修事業費</p>	<p>体育館において、経年劣化による機械設備（空調関係）不良箇所等の修繕を行いました。また、体育館エントランススタイルについては、前年度から繰越で継続して改修工事を行いました。</p> <p>【体育館機械設備修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成 30 年 4 月 19 日 ～ 平成 30 年 8 月 31 日 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸収冷温水器（R-1-1）分解点検整備 ・吸収冷温水器（R-1-1）チューブ薬品洗浄及び渦流探傷検査 ・空調設備ポンプ更新 ・ポンプ取替 ・冷却塔（CT1-1、CT1-2）フレキシブルジョイント取替 ・冷却水ポンプ用（P-1-1、P-1-2）逆止弁取替 ・厨房室内機マイコン交換 <p>【体育館防排煙設備修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成 30 年 4 月 19 日～ 平成 30 年 7 月 31 日 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火戸 3 重量鋼製建具下場カット修繕 ・防火戸 4 重量鋼製建具ドアクローザー取付 ・垂れ壁 8 ホール防煙スクリーン修繕 <p>【体育館正面玄関アルミサッシ・フロアヒンジ修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成 30 年 4 月 19 日 ～ 平成 30 年 7 月 31 日 <p>【体育館電動ブラインド取替修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成 30 年 4 月 27 日 ～ 平成 30 年 7 月 10 日 <p>【体育館エントランススタイル改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成 30 年 3 月 5 日～（繰越）平成 30 年 6 月 20 日 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エントランス土間タイルの貼替 1,037m² ・花壇タイルの貼替 20.6m² 	<p>体育館の老朽化による、設備の故障や不具合に、計画的に対応することができました。</p> <p>平成 30 年には福井しあわせ元気国体が開催され、利用者にとって安全で安心のできる快適な施設の整備に努めることができました。</p>	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>				
<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A			効果性	A	効率性(コスト)	B
有効性	A							
効果性	A							
効率性(コスト)	B							
効率性(人員)	B							
<p>運動公園 陸上競技場改修事業</p>	<p>陸上競技場の新規公認取得に向けた改修工事のための設計業務委託を行いました。またスリットビデオシステムについて、公認取得の際及び大会運営に必要不可欠なため既設を撤去し更新しました。</p> <p>【陸上競技場改修工事設計委託業務】</p> <p>【陸上競技場スリットビデオシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ本体（ソフトウェア含む）、撮影用 PC 1 台、判定用 PC 1 台 	<p>陸上競技場の新規公認取得に向けた改修工事のための設計を行い、本業務の設計をもとに今後、改修工事を行います。</p> <p>また、スリットビデオシステムを更新することにより、公認取得後及び大会運営時に効果的、有効的な活用を行います。</p>	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 1</p>				
<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B
有効性	A							
効果性	A							
効率性(コスト)	B							
効率性(人員)	B							

<p>福井しあわせ元気国体競技施設整備事業費</p>	<p>平成30年の福井国体に向けて、各競技会場となる施設（プール・弓道場・野球場）の改修工事及び修繕を行いました。また、プールのコースロープにおいては、劣化が激しいため購入いたしました。</p> <p>【プール機械設備修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成30年4月19日～平成30年7月31日 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷温水器分解整備（WCH-2） ・吸収冷温水器（WCH-2）プレート熱交換器 ・消火ポンプユニット分解 ・50mプール管路排水ポンプ取替 ・エアハン部品取替 <p>【体育館及び野球場前トイレ ベビーシート設置修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成30年4月27日～平成30年6月30日 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館2階トイレ 1台設置 ・多目的広場横（野球場前）トイレ 1台設置 <p>【ゲートボール場トップライト修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成30年4月27日～平成30年7月31日 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーリング撤去・新設卓 ・プールろ過機電動弁取替 <p>【野球場内野整備業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履行期間 平成30年6月7日～平成30年7月20日 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内野整備、マウンド整形 <p>【駐車場等舗装補修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成30年5月18日～平成30年8月10日 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車枠－体育館裏駐車場、野球場前駐車場、体育館玄関前 計1,609m ・駐車枠仕切線－体育館裏駐車場 176.9m ・身障者マーカー－体育館裏駐車場、体育館玄関前 18.4m 	<p>平成30年の福井国体の前に、各開催競技の円滑な運営に資するため、施設の不具合や、競技を開催するうえで必要な整備や改修を行うことができ、また、施設や設備の老朽化している箇所の長寿命化に繋げることができました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>②完了</p>	<p>II - 10</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

<p>運動公園 管理運営</p>	<p>運動公園内各施設を安全・安心な施設として維持するための管理運営を行いました。施設の老朽化により、予定外の修繕等が多々発生しましたが、早急に対応しました。</p> <p>主な修繕・工事としては、高圧ケーブル取替修繕、体育館電動バトン修繕、修景池太鼓橋及び浮見堂修繕、体育館排煙オペレーター修繕、ゲートボール場屋内トイレ洋式化修繕、ちびっ子広場大型遊具修繕等を実施しました。</p> <p>また、排水ポンプの故障や、配管からの漏水等により、施設利用に支障をきたすトラブルも発生しましたが、早急に修繕等の対応を行いました。</p> <p>さらに、簡易な修繕等は、原材料のみ購入し職員で対応するなど、予算の削減に努めました。</p>	<p>管理委託業務により、いち早く問題を見つけ、安全安心対策につなげることが出来ました。また、予算計上外の修繕等により、費用が嵩みましたが、今後も施設の老朽化により、随時修繕が発生する可能性があります。早急に対応できるよう、日々の点検などにも注意を心がけ、安全で満足度の高い施設の維持に努めます。</p> <p>利用者数は減少しておりますが、施設の改修や国体等の開催に伴い施設の開放期間を制限したことが主な原因と考えます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 1 II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>運動公園 プール 管理運営</p>	<p>清潔で安全な環境を維持し、利用者に満足度の高い水泳場を提供するため、快適で安全なプール環境の維持・管理に努めました。経年劣化等による大きな修繕としては、トレーニングルームの音響設備修繕、プール非常放送設備パワーアンプ修繕、プール真空ヒータ部品取替修繕、プール消防設備不良箇所取替修繕等を実施しました。</p> <p>また、シャワーやトイレ等での漏水が頻繁に起こり、今後も劣化状況に応じ、緊急に修繕や取替工事などの対応が必要となってくると考えます。</p>	<p>施設の老朽化が目立ちはじめており、管理運営及び整備計画の検討を要する。また、漏水や器具の故障が突発的に発生しましたが、早急に対応することができました。</p> <p>利用者数については減少しておりますが、国体開催に伴い、施設の開放期間を制限したこと等が主な原因と考えます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 1 II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書に対する外部の知見

福井県立大学学術教養センター 黒田 祐二

はじめに

報告書やヒアリングを通して、各課が第6次総合計画後期基本計画と教育振興基本計画に対して真摯に取り組み、その点検・評価をしっかりと行おうとしていることが窺えた。このことに敬意を表したい。

以下に、両計画の点検・評価に関して、全体と各課に分けて意見を述べる。

1. 全体に関する意見

①「敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価報告」（第6次総合計画後期基本計画の点検・評価）について

「まとめ」を見ると、概ねPDCAサイクルに基づいた点検・評価がなされていることが読み取れる。いくつかの課において、①目標値と比較しながら（PDCAのPに対応）、平成30年度の実績を述べる（同Dに対応）、②平成30年度の実績が目標値に達していない場合にはその理由や要因を分析する（同Cに対応）、③要因分析の結果を踏まえて今後の課題を明確にする（同Aに対応）、という流れがはっきり読み取れた。このようなPDCAを意識した記述は自己点検・評価において大変重要である。

その一方で、課題と今後の方向性（同CとA）を明確に記述していない課がいくつかあった。この指摘は前回と同様である。自己点検・評価においては、課題を特定し、今後の方向性をはっきりさせることが不可欠であるため、これらを明確に記述して頂きたい。また、令和2年度の目標値に大きく到達していない計画が複数ある。今後の取り組みに期待したいところである。

最後に、全体を通して今後検討が必要と思われる点を2つ述べる。1つ目は、数値目標についてである。数値目標を見ると、最終年度までの到達目標を表したものと、毎年度の目標を表したものとがある。例えば、「文化財整備活用計画」の「指定・登録文化財数」の数値目標（209件）は、最終年度までに到達したい（1年目から5年目までの積み重ねで達成したい）件数である。他方、「文化活動促進計画」の「文化行事参加者数」の数値目標（33,800人）は、毎年度達成したい人数であると思われる。もともとは、前者の（積み重ねとしての）数値目標を意図していたのかもしれないが、実際には多くの事業で毎年度の数値目標を掲げているように思われる。もしそうであるなら、第7次総合計画において数値目標の名称（現在の表では「目標年度の数値」になっている）を修正すること、あるいは、数値目標の設定方法を検討すること（毎年度の目標にしても良いが、目標を状況に応じて変更できるようにするやり方もあるかもしれない）などが必要ではなかろうか。

2つ目は、これまでヒアリングの資料として配布されてきた個票が廃止された点で

ある。個票には、予算の執行状況が記載されると共に、各事業での PDCA サイクルを詳細に記載する欄が設けられていた。例えば、取り組みの成果及び問題点の理由（要因）を分析して記載する欄（PDCA の C を適切に行うための欄）や、今後の方向性として「すぐに取り組む事項」と「中長期的な検討課題」の 2 つを記載する欄（PDCA の A を行い、次年度の P につなげるための欄）が設けられていた。個票を廃止するかどうかは、自己点検・評価制度のそもそもの目的や趣旨との関連で判断する必要がある。この判断の結果、仮に廃止したり大幅に簡略化したりすることになった場合には、上述した記載欄は自己点検・評価において大変有益であるため、他の文書（例えば、「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」や「敦賀市教育振興基本計画目標進捗状況」）にうまく応用して頂きたい。

②「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」について

学校教育課主管の基本施策（①から⑧）に関する実績が重要であるが、これらの実績を見ると、数値上すでに目標に到達していたり、到達していなくても目標に近い実績であったりするものがあり、これらの点は高く評価できる。その他の基本施策の実績については第 6 次総合計画後期基本計画の実績と重複するため、割愛する。

なお、基本施策①から⑧の推進状況をデータから読み取る際、そのデータの性質や収集方法等について注意する必要がある。例えば、データをアンケート調査で収集した場合には、「回答バイアス」（例えば、児童生徒が大人の期待通りの回答をすること）や「アンケート項目の妥当性」（例えば、質問項目に調べたいことがきちんと反映されているか）に注意する必要がある。客観的な指標である数値データを利用する利点は多々あるが、その適用範囲や限界についても注意して頂きたい。

本調書について今後検討して頂きたい点が 2 つある。第 1 に、「主な実施内容」「計画の実施や目標達成に向けた今後の課題」「課題に対する今後の方向性」の文言が、前回（平成 29 年度）のと同じになっているところが複数ある。基本施策をより着実に（計画目標により近づく）ために、実施内容や今後の課題は年度毎に異なるはずであり、それに伴って今後の方向性も異なるはずである。同じ文言であると、「前回と同じことを行って、前回と同じ課題が残された」（つまり、改善や進展が何もなかった）と受け取れるため、取り組み内容や課題、今後の方向性を精査して適切に記述頂きたい。第 2 に、調書の中の「基本施策」と「計画目標」が十分に対応していないところがいくつかある。これは前回も指摘したことであり、詳細は前回の文書を参照して頂きたい。計画目標は、基本施策を実現するために掲げられた目標であり、計画目標を達成することで基本施策が実現されたと判断することができる。そのため、基本施策と計画目標は十分対応している必要がある。この対応が十分ではない計画目標は今後見直して頂きたい。

③「敦賀市教育振興基本計画 目標進捗状況」について

平成 30 年度から作成された本調書では、「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」で記載されていなかった実績の詳細と要因分析を記せるようになってきている。例えば、月毎の施設利用者数が記され、前年度と比べて増えたか減った

か、その理由は何かを記すことができる。実績を細かく把握したり改善点や問題点の要因を分析したりすることは、次年度の取り組みにつなげるために重要であり、その点では本調書を高く評価することができる。

その一方で、要因分析（増減理由）が的確に記されていない、月毎の実績が記されていない（事業によっては記すことができない）などといった点も見受けられる。また、一部「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」と重複する内容もある。今後は、必要事項を記載できるように本調書を改善すること、もしくは、本調書を「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」の中に統合することなどを検討して頂きたい。

2. 各課に関する意見

①教育総務課

- ・教育委員会の開催など、運営が着実になされている。
- ・その他の所管事務も滞りなく行われていることが調書から読み取れる。
- ・昨年も指摘したが、「まとめ」において「課題」の記述が見当たらない。PDCA サイクルが明確になるように、課題をはっきり記述して頂きたい。

②学校教育課

- ・学校と地域の連携を強化して、児童生徒が地域の中で体験学習を行ったり地域の人々と交流したりする取り組みを推進したことは高く評価できる。
- ・昨今問題になっている教師の働き方改善を推進するため、学校運営支援員と部活動指導員を配置した点が評価できる。
- ・昨年も指摘したが、「まとめ」において「課題」の記述が見当たらない。PDCA サイクルを機能させるために課題の特定は必須であるので記述して頂きたい。例えば、学校運営支援員と部活動指導員を配置したことが実際に教師の働き方改善につながったのかどうか（人的配置の実効性）を検証し、今後の課題と方向性を明確化するなどして頂きたい。
- ・「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」において、計画目標が基本施策と一致していないところがある。一例を挙げると、基本施策④「個々のニーズに合わせた特別支援教育の推進」に対して、「特別支援学級・通級指導教室と通常学級の交流学习を推進する」という計画目標は一致していない（「交流学习が推進された」からといって「個々のニーズに合わせた特別支援教育が推進された」と結論することはできない）。全ての計画目標をチェックして頂き、基本施策との関連性が乏しい計画目標は改善して頂きたい。
- ・同調書の「主な実施内容」「計画の実施や目標達成に向けた今後の課題」「課題に対する今後の方向性」の文言が、前回（平成 29 年度）のと同じになっているところがある。これらを改善して頂きたい。

③生涯学習課

- ・過去の実績と比較して平成 30 年度の実績を分析し、その増減の分析、課題の整理、今後の方向性が明確に示されている。これらの点が高く評価される。
- ・家庭教育に関する提言書に基づき、保護者を対象とした SNS 講座を開催した。平成 29 年度には思春期子育て講座を開催しており、一連の継続的な取り組みとして高く評価することができる。
- ・主催事業を充実させるための努力がなされており、大変評価できる。
- ・様々な努力がなされているが、公民館活動への参加者数が目標値と離れているため、今後の取り組みを期待したい。
- ・「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」において、計画目標が基本施策と一致していないところがある。一例を挙げると、基本施策⑫「地域等と連携した青少年の健全育成」に対して、「生涯学習施設や図書館の利用者数を増加させる」という計画目標は一致していない。基本施策と直接関係する計画目標を掲げて頂きたい。

④文化振興課およびその所管課

- ・指定・登録文化財の件数や博物館の見学者アンケートの満足度が目標値に到達した。目標値に到達していない事業については要因の分析と今後の方向性が明記されている。これらの点を高く評価することができる。
- ・文化行事参加者数と山車会館の利用者数が目標値に届いていないため、今後の取り組みに期待したい。
- ・市民文化センターに関して指定管理者制度が導入された。導入の効果等を分析して、今後の利用促進につなげて頂きたい。
- ・「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」において、計画目標が基本施策と一致していないところがある。一例を挙げると、基本施策⑮「文化財の保護・支援」に対して、「文化行事参加者を増加させる」という計画目標は一致していない。基本施策と直接関係する計画目標を掲げて頂きたい。

⑤スポーツ振興課およびその所管課

- ・「まとめ」において、目標値と比較しながら実績が記述されている。同時に、要因分析、課題、今後の方向性についてももしっかり記述されている。これらの点を高く評価することができる。
- ・各事業への参加者数やスポーツ施設の総利用者数が目標値に届いていないため、今後の取り組みに期待したい。
- ・「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」において、計画目標が基本施策と一致していないところがある。例えば、基本施策⑳「スポーツ施設の整備」に対して、「スポーツ施設の利用者を増加させる」という計画目標は一致していないと思われる。基本施策と直接関係する計画目標になっているかどうかを検討頂きたい。

はじめに

当該自己点検・評価は、日々の「事務」の管理・執行状況を評価するために行われているが、単に事務作業をこなすだけでなく、長期的な方向性を見据えたうえでの「今」であるか、ということ各課で再認識すべき良い機会でもあろう。例えば、個別施設の改修や大型備品の整備等は、市の長期的計画を見据えた上で進められているのか、今後の国の教育方針や社会的趨勢と齟齬をきたすことにならないか、対症療法的な業務にならぬよう気を配る必要がある。

近年、とくに教育行政には迅速性が求められ、日々の対応に追われている。また、「教育」は目で見える成果に乏しく、あっても長期的な効果であるため計測には向かない。だからこそ、長期的にどうあることが望ましいか(成果)を念頭に、非効率な作業を極力減らして意味あることに時間や予算、人員を割けるよう職員1人1人の意識改革が必要となる。この業務はこう決まっているので…、目標値は達成したので…、という姿勢では改革につながらない。

現場での小さな「気づき」が「カイゼン」に、ひいては政策立案／形成能力へと繋がるためにこそ、本点検・評価があることを再認識してほしい。

①教育総務課

子どもをとりまく環境は、近年大きく変化しており、いじめや、いわゆる気がかりな子、子どもに悪影響を与える親の存在など、それらに迅速かつ丁寧に対応しなければならない教育現場は疲弊している。児童相談所や保健所、法的専門家など他機関との連携は勿論のこと、教員のメンタルヘルスに関しても段階を追った対策が急務である。働きやすい職場でなければ、次世代教員の数と水準が満たされない状況にも陥りかねない。欠員補充の教員に頼る現状もそれらを助長すると考えられる。

小中一貫校整備事業や、学校施設の整備に関しては、少子化による学校再編を前提としたうえで、必修科目や必修項目の新設・改訂に伴い教員配置や機器・設備の購入・リースが必要となることを念頭に置かねばならない。とりわけ情報機器の陳腐化速度は増しており、きめ細やかな教育サービスの提供とコスト効率性が相反する可能性は高い。これまでの延長線上の議論ではなく、未来を起点とするバックキャストिंगな思考が求められる。

②学校教育課

自己評価は低くなっているが、地域教育コミュニティ推進事業は、聴く、見る、考える、実践する、伝えるという一連の学びが、既存の教育体系に上手く取り込まれており、小中学校とも目標を達成している。「読む」に関しては目標に達していないが、自分達の活動が載っている新聞や、類似活動を頑張っている同年代の記事など、児童・生徒の興味を引く記事から新聞を読む癖をつけさせる工夫などが必要であろう。同時に、インターネット情報と体系的に学べる書籍や雑誌などとを比較し、情報の取捨選択、見極めといったリテラシーを学ぶ機会を設ける必要もあるだろう。

③生涯学習課

自主学習教室利用者数、生涯学習施設利用者数とも、前年同月比をほぼ上回っており、利用率向上のための企画が効いていると考えられる。スマホ講座、マジック講座やチョークアート講座などトレンドを取り入れ、受講者数自体の増加のみならず、参加者の年齢構成も考慮しながら講座を企画している点が評価される。ただ近年、趣味嗜好が多様化しており、すべての人に興味を持たれる講座を企画することは難しい。一方で、公民館の近隣住民のみが当該公民館の講座に参加するわけではない点を考えると、主催事業の企画時に公民館間の連携を図ることで、ユニークな講座の新設や習熟度別の講座などが企画できるのではないだろうか。

地域コミュニティモデル事業に関しては、1地区のみの応募とのことで、市全体へ広がりが見られない。清掃作業や防災訓練等は公益性を有しており、住民の責務として必須である。一方で、生き方の多様化が進む中、祭りや体育大会のあり方を再考せねば、一部の住民に業務が偏り却って軋轢を生みかねない。当該事業は、モデル地区と同じことを他地区にも広めるのではなく、各地区の身の丈に合った「コミュニティのあり方を考える場づくり」の支援とする方が、実利があると考えられる。

少年愛護センターの取り組みに関しては、時代の変化と業務内容とが合致しなくなっている点が現場でも認識されている。たしかに、ネット社会であるがゆえ、Face to Face のぬくもりが青少年の育成に不可欠である点は解される。また、見守り隊の総数確保の難しさや高齢化など、IT 対応が追いつかない現状も理解できる。だが今後は、自撮り被害やネットを介した犯罪の未然防止や相談など、現代の青少年の立場に立った「寄り添い方」へと変えてゆく必要もあるのではないだろうか。

高齢化により施設利用者数の減少は必至であるが、独居高齢者数の増加や、ひきこもり中高年の高齢化による地域社会の崩壊が危惧される中、生涯学習課が所管する施設は、ソーシャルインクルージョンの機能を果たすものが多い。引き続き、利用者・参加者数向上のための企画等が期待される。

なお、様式1記載の基本施策⑩～⑫に関しては、主な実施内容と実績／計画目標とが連動しておらず、評価がしにくい。次期目標設定時には、実状が点検しやすい実績／計画目標にしてほしい。

④文化振興課

総合計画の目標数値からすると、文化行事参加者数や山車会館利用者数は1.5～2倍の増加が望まれる。ただ、市民文化センターの改修工事により前年度比利用者数が減少したとのことであるが、3か月の休館で1割減に抑えられた点については、5月、7月、10月のイベント開催が奏功していることが伺える。平成31年度からは、指定管理者制度が導入されたとのことで、全国区でパッケージ化されたコンサートの開催や子供向け体験ツアーなど、民間事業者の企画により利用率の向上が期待される。

博物館や山車会館に関しては、クルーズ船利用の欧米系インバウンド向けにパンフレットが作成されているとのことだが、顧客ニーズに合わせたコンテンツと配布場所が計算されている。後者に関しては、外国人ウケする体験コーナーや映像コンテンツ

が充実しているとのことだが、顧客の SNS、口コミを新規顧客に繋げるアイテムを考案したり、博物館との連動性を意識することで相乗効果があるのではないだろうか。所管課では、山車を見ていただきたい思いと顧客ニーズに寄せた受ける歴史ネタとのバランスに苦慮しておられたが、こうした気づきが非常に重要である。教育施設であるのか観光施設であるのか、という点も含めた上で「会館のあり方の見直し」を議論してゆく必要がある。

博物館に関しては、郷土の歴史を絡めた特別展が開催され、初公開資料など研究成果が発表され好評であったとのことだが、入館者総数の増加には寄与していない点が残念である。全国区の著名人が記念講演会などに来られた際に、教育機関などと連携したアウトリーチを行うなど新たな試みが期待される。

⑤スポーツ振興課

スポーツ施設利用者数や総合運動公園利用者数は前年度比増ではあったが、総合計画の目標値に及ばず、更なる振興が期待される。各施設にばらつきはあるものの、5、6月、11、12月に前年同月比割れが見られ、12月から2月までの利用者総数が減ることから、天候などの要因が考えられる。選抜選手や愛好家などのリピーター利用が多いとのことであるが、技術水準の向上と同時にスポーツ初心者の裾野を拡げる取り組みも重要であろう。ボールゲームフェスタなどは、有名選手が講師として招へいされ、学年や技術レベルに応じたコンテンツが提供されている点が評価される。こうしたイベントをきっかけに、定期的で継続的なスポーツ習慣が幼少期から身に着くよう環境整備が必要である。施設整備や教室開催、スポーツクラブ支援とともに、指導者の育成や親の理解も必要である。今後は、少子化に伴いメンバーの多い球技などが成立しなくなったり、チーム全体でのレベル向上が難しくなったりする。こうした点にどう対処してゆくかという側面も考慮すべきであろう。

施設の大規模な整備は進んだとのことだが、軽微な修繕を職員が行う場合もある件に関しては、利用者の安全確保を前提としたうえで、職員の労務リスクにも配慮すべきであろう。

敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価

■なぜ自己点検・評価をするのか？

- ◇ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により規定されています。
- ◇ 法の趣旨は、市民への説明責任、効果的な教育行政の推進にあります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会の責任体制の明確化が謳われ、平成20年4月1日から、教育委員会の活動の自己点検・評価を行うことが義務付けられ、議会に報告し公表することとされました。

また、これを行うに当たって、学識経験者の知見を活用することとされました。従って、当市においても、平成20年度から自己点検・評価を実施しています。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

■何を評価するのか？

- ◇ 教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況について評価することになります。

教育委員会の権限に属する事務とは次のとおりです。

地方自治法 第180条の8に教育委員会の事務について規定があります。この中の「別に法律の定めるところ」とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」も指しており、第21条に教育委員会の管理・執行する事務の内容が規定されています。

【参考】 地方自治法 抜粋

第180条の8 教育委員会は、別に法律の定めるところにより、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の身分取扱いに関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行する。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋
(教育委員会の職務権限)

第21条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

(事務の委任等)

第25条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。
 - (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。
 - (2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。
 - (3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
 - (4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
 - (5) 次条の規定による点検及び評価に関すること。
 - (6) 第27条及び第29条に規定する意見の申出に関すること。
- 3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第1項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。
- 4 教育長は、第1項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第1項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律を受け、敦賀市教育委員会教育長事務委任規則及び敦賀市教育委員会事務局組織規則を定め、事務の具体的な内容を示しています。また、施設の設置条例において、設置の目的など重要な事項を規定しています。

【参考】 ○敦賀市教育委員会教育長事務委任規則

平成 15 年敦賀市教育委員会規則第 13 号

(教育長への委任)

第 2 条 教育委員会は、その権限に属する事務のうち、次の各号に掲げる事項を除き、教育長に委任するものとする。

- (1) 教育行政の運営に関する一般方針を定めること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関(以下「教育機関」という。)の設置及び廃止に関すること。
- (3) 県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。
- (4) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (5) 教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐(同等の者を含む。)以上の職員の任免に関すること。
- (6) 前 3 号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
- (7) 重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。
- (8) 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。
- (9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。
- (10) 法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。
- (11) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (12) 児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。
- (13) 教科用図書の採択に関すること。
- (14) 文化財の指定及び解除に関すること。
- (15) 請願、陳情、訴訟及び異議申立てに関すること。
- (16) 教育に関する表彰に関すること。
- (17) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。

教育委員会の事務と教育長への事務委任の関係は下表のとおりです。

(1)教育委員会の事務と教育長への事務委任の関係	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)	敦賀市教育委員会教育長事務委任規則
教育委員会の職務権限	教育長に委任されない事務
(1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、 管理 及び廃止に関すること。	1 教育行政の運営に関する一般方針を定めること。
(2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。	2 教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関（以下「教育機関」という。）の設置及び廃止に関すること。
(3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	3 県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。
(4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。	4 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
(5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編成、 教育課程 、 学習指導 、 生徒指導 及び 職業指導 に関すること。	5 教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐（同等の者を含む。）以上の職員の任免に関すること。
(6) 教科書 その他の教材の取扱いに関すること。	6 前3号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
(7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。	7 重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。
(8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。	8 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。
(9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。	9 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。
(10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。	10 法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。
(11) 学校給食に関すること。	11 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
(12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。	12 児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。
(13) スポーツに関すること。	13 教科用図書 の採択に関すること。
(14) 文化財の保護に関すること。	14 文化財の指定及び解除に関すること。
(15) ユネスコ活動に関すること。	15 請願、陳情、訴訟及び審査請求に関すること。
(16) 教育に関する法人に関すること。	16 教育に関する表彰に関すること。
(17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。	17 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
(18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。	
(19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。	

(注)点線は、一部分関連するもの

◇ 評価の対象となる事務は、「評価項目」として次のように分類します。

私達は、毎日、法令や規則に基づき事務を執行しています。事務の自己点検・評価を行う場合は、具体的で誰でも理解できるよう分類する必要があります。

それでは、どのように分類し、どのような評価項目を設定するかということですが、先に述べたように私達は法令に基づいて仕事をしています。仕事には必ず費用が伴いますので、予算の区分に従い分類することが簡単で評価しやすい方法です。また、毎年9月議会において、前年度の「主要な施策の成果に関する説明書」により議会へ報告しています。

この自己点検・評価報告書も、議会へ報告することとなっていますので、これを利用することによって議会への説明も容易になります。

従って、予算の事業名の小事業までを、「評価項目」とし、評価項目ごとに評価調書を作成します。

■誰が評価するのか？

◇ 事務の点検・評価の担当者は、事務分掌における主担当者を中心に課（所）内にて一次評価します。 ※評価調書の作成

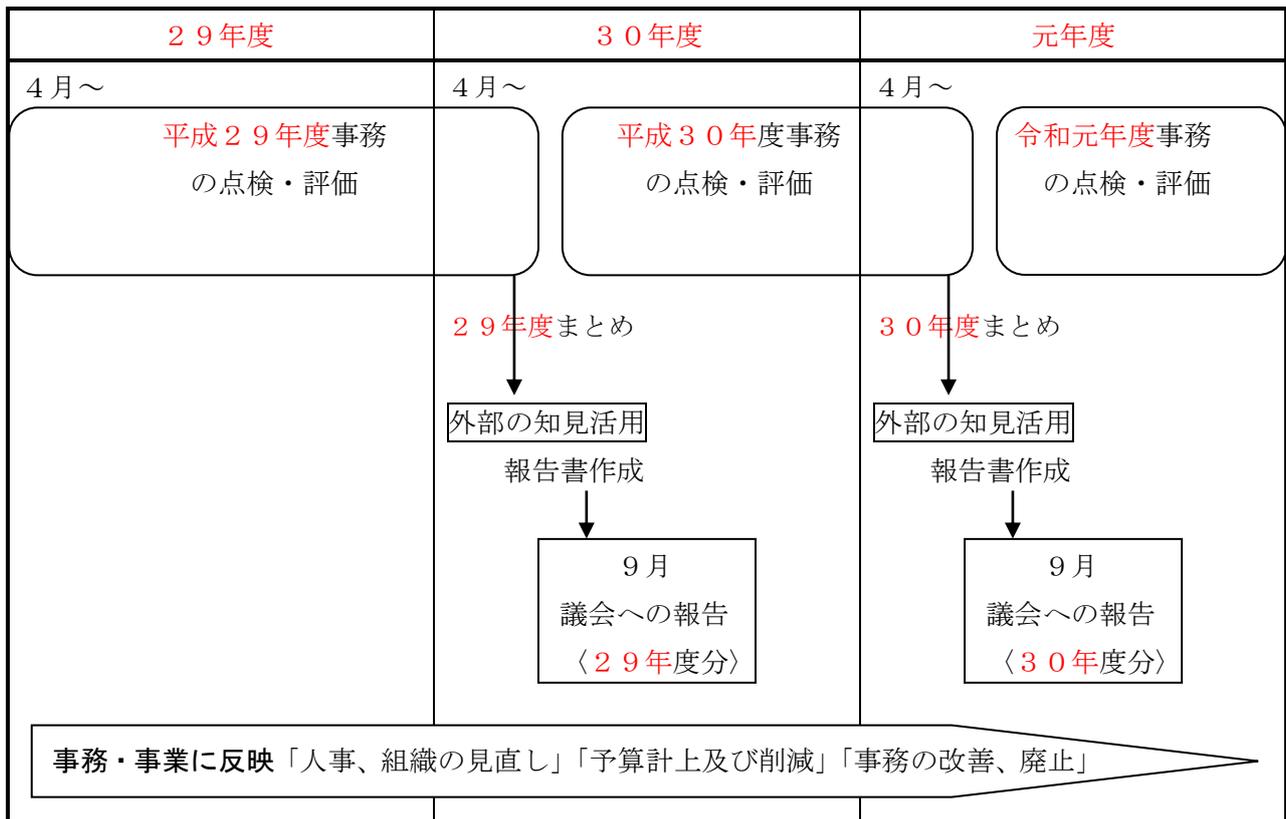
◇ 評価調書を教育総務課にて取りまとめたのち、教育委員会が二次評価します。

※ 教育委員会の職務として、教育委員会で審議します。

■いつ評価するのか？

◇ 当該年度の翌年に、評価を実施することになります。

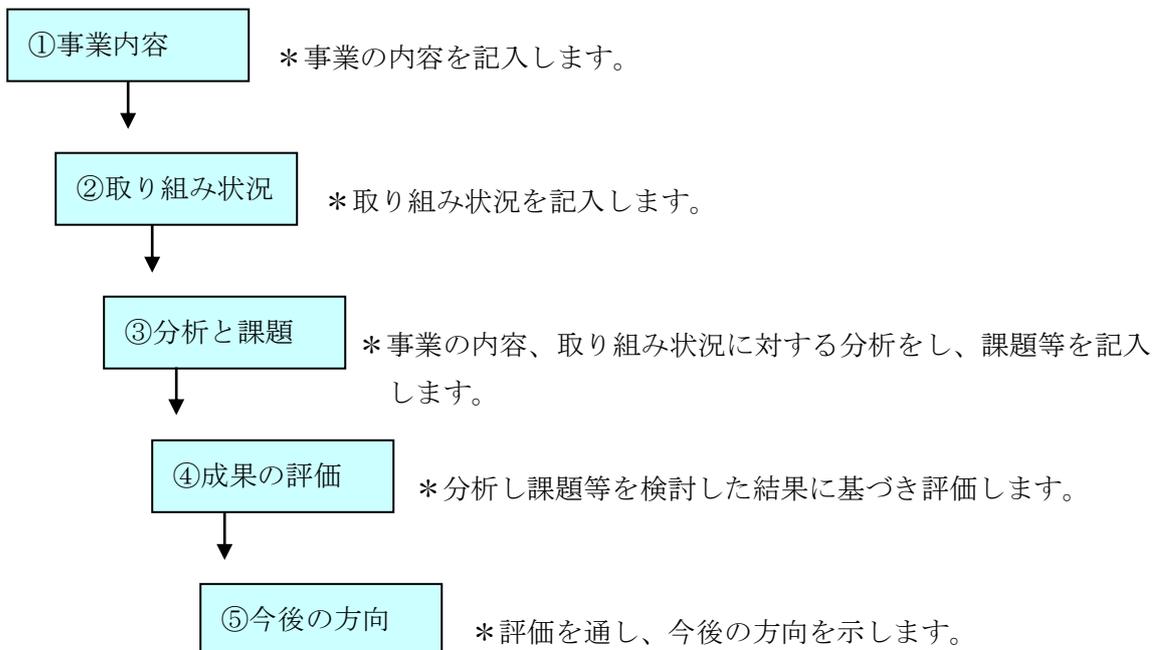
◇ 評価のスケジュール等については、次頁のとおりになります。



■自己点検・評価の方法

◇ 設定した評価項目について、次のように評価します。

評価項目を設定したら、評価調書を作成します。評価の流れは、次のとおりです。



評価の方法は次のとおりです。

1. 事業の概要と取り組み状況

- ・予算の事業の概要を記入します。予算の事業概要の欄に記入のない場合も記載します。
- ・取り組み状況は、具体的に実施年月、参加者数、購入量等を記載します。

2. 成果分析と評価

- ・前年度の評価において今後すぐに取り組む事項とした内容を記載のうえ、具体的な取り組みにつながった点と内容を記載します。

また、具体的な取り組みにつながらなかった場合もその内容を記載します。
総合評価は、以下の点等を考慮します。

- ・他自治体との比較 *先進的な取り組みか又は他市に遅れているかなど
- ・社会の動向や市民の要求に対する分析 *指標やアンケートなど
- ・情報公開、説明責任、環境に対する配慮など

3. 成果の評価

- ・分析した結果を有効性、効果性、効率性、について自己評価します。

判定の基準				
		A 前進	B 維持	C 後退
有効性		・計画通り目標が達成できたもの	維持	・目標を下回る結果に終わったもの ・目標が達成できなかったもの又は目標達成に目途が立たないもの
効果性		効果（予定通り進捗）があった	維持	効果がなかった
効率性	コスト	効率が良かった	維持	効率が悪かった
	人員	効率が良かった	維持	効率が悪かった

※「B 維持」判定は、どちらとも判断できないもの又は判定不能も含む。

4 今後の方向

- ・①継続 ②完了 ③拡大 ④縮小 ⑤転換 ⑥中止 の6項目で示します。
- ・項目の内容を、「すぐに取り組む事項」と「中長期的な検討課題」として具体的に記入します。

■外部評価は誰がするのか？

◇ 自己点検・評価に対する外部の知見の活用について、外部組織から委員を選任します。

- (1) 外部評価の組織の決定
- (2) 評価者の選任
- (3) 評価会議の設置・開催
- (4) 評価会議の意見書のまとめ

■報告書の作成

◇ 評価調書をまとめ外部の知見を盛り込み報告書を作成します。

■議会への報告書の提出と公表

- (1) 報告書の提出

報告書は、毎年9月議会に提出します。

- (2) 報告書の公表

報告書は、ホームページにおいても公表いたします。

■評価結果を活かすには

◇ 評価結果を事務に反映します。

- (1) 人事、組織を見直します。
- (2) 予算の計上又は削減をします。
- (3) 事務の改善、廃止をします。

◇分類表

大項目	中項目	小項目	担当課	
I 教育委員会が管理・ 執行する事務	1	教育行政の運営に関する一般方針を定めること。	(1)教育振興基本計画の策定 (2)教育要覧の作成	教育総務課
	2	教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。	(1)学校の統廃合 (2)学校の適正配置 (3)公民館の設置 (4)教育機関の設置及び廃止	教育総務課 学校教育課 生涯学習課
	3	県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。		学校教育課
	4	県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。		学校教育課
	5	教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐以上の職員の任免に関すること。		教育総務課
	6	人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。		教育総務課
	7	重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。		全課
	8	教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。		教育総務課
	9	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。		全課
	10	法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。		全課
	11	校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。		学校教育課
	12	児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。	(1)通学区域審議会	学校教育課
	13	教科用図書の採択に関すること。		学校教育課
	14	文化財の指定及び解除に関すること。	(1)文化財の指定 (2)文化財の指定解除	文化振興課
	15	請願、陳情、訴訟及び異議申立てに関すること。		教育総務課
	16	教育に関する表彰に関すること。	(1)教育功労	教育総務課
	17	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。		教育総務課
II 教育委員会が管理・ 執行する事務を教育 長に委任する事務	1	教育財産の管理に関すること。		全課
	2	学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。		学校教育課
	3	学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。		学校教育課
	4	教科書その他の教材の取扱いに関すること。		学校教育課
	5	校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。		教育総務課 学校教育課
	6	校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。		学校教育課
	7	学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。		全課
	8	学校給食に関すること。		学校教育課
	9	青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。		生涯学習課
	10	スポーツに関すること。		スポーツ振興課
	11	文化財の保護に関すること。		文化振興課
	12	ユネスコ活動に関すること		学校教育課
	13	教育に関する法人に関すること		教育総務課
	14	教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。		教育総務課
	15	所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。		全課
	16	前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。		全課

Ⅲ 上記に分類されない ものとして、教育委 員会自身の活動	1	教育委員会の会議	(1)教育委員会会議の開催	教育総務課
	2	教育委員の研修		教育総務課